

徳島大学

環境防災研究センター年報

第14号

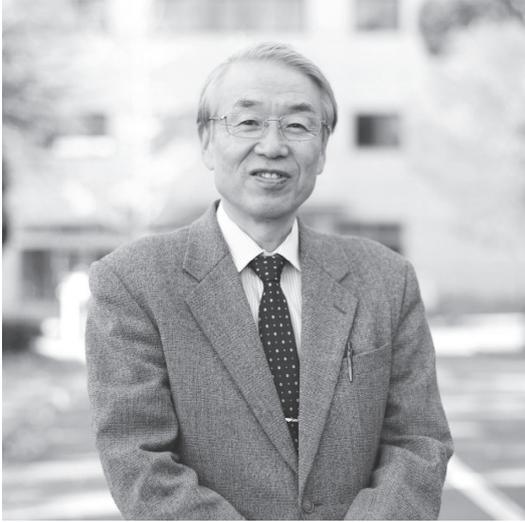
平成 30年 3月



徳島大学環境防災研究センター

Research Center for Management of Disaster and Environment

序文



昨年4月に発生した熊本地震から1年が経過し、ようやくインフラ復旧が本格化したばかりという平成29年7月、再び九州地方を深刻な災害が襲いました。2017年九州北部豪雨です。2017年7月5日午後から6日未明にかけて、対馬海峡から九州北部、さらに四国にかけて停滞した梅雨前線に九州南部から湿った大気が連続的に流れ込んだ結果、福岡県朝倉市などで線状降水帯が形成され、多いところでは半日で800mmを超える記録的な大雨となりました。このため、筑後川

に北側から流入する北川、赤谷川、寒水川などの中小河川上流部で広範囲に斜面崩壊が発生し、大量の流木が発生した結果、中小河川の洪水氾濫に加え、大量の土砂と流木が周辺家屋を襲うことになりました。この豪雨による洪水や土砂災害で、福岡県と大分県で40名以上の死者・行方不明者を出す人的被害が発生しています。本センターでも、土砂災害、河川氾濫、学校や社会福祉施設等の事業所被害等について現地調査を実施し、平成29年10月23日に災害調査報告会を開催いたしました。

政府が3月に発表した資料によりますと、南海トラフ地震の発生確率は10年以内で30%程度、20年以内で50%程度となっております。昨年度の熊本地震、鳥取県中部地震等の活断層型地震、各地で発生する豪雨災害、まさに災害の世紀の様相を呈しています。こうした自然災害による被害をいかに軽減するか、当センターが果たすべき役割は年々増大していると感じております。

本センターの特徴は防災関連の研究に加えて、自然生態系を守るための研究と社会活動を大切にしているところにあります。今年度も昨年度に引き続き「生物多様性とくしま会議」や「みなみから届ける環づくり会議」の運営・活動の支援、「スマホ生きもの調査」などを住民や学外の研究者とともに進めています。

このたび、第14号の徳島大学環境防災研究センター年報を発刊し、私どもの研究と社会貢献に係る活動の一端を紹介させていただきます。この14年間、国、地方自治体、関連企業、ならびに本学から多大なご支援を得て、順調に事業・活動実績を積み重ねてまいることができました。

徳島大学では大学の活性化とレベルアップを図るため、組織再編が行われており、当センターでも、平成29年4月1日から体制を見直し、5部門、1室から4部門（防

災研究部門，環境研究部門，災害医療部門，危機管理研究部門) に再編成いたしました。また，理工学研究部所属の中野 晋，上月康則，蔣 景彩，山中亮一の4名がセンター専任教員に所属替えとなり，湯浅恭史と併せて，5名の専任教員で運営を行っております。

この場をお借りして，関係各位の皆様これまでいただきましたご支援とご協力に感謝申し上げますとともに，今後とも引き続き各方面からのご支援，ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

徳島大学環境防災研究センター
センター長 中野 晋

徳島大学環境防災研究センター 年報

第14号

目次

I 目的・組織

1. はじめに	1
2. 目的	1
3. 組織と運営	2

II 平成29年度活動状況

1. 運営委員会関係	
1. 1 運営委員会	3
2. 主催・共催等事業	
2. 1 主催事業	6
2. 2 共催・協力事業	9
2. 3 その他	11
3. 調査	
3. 1 災害調査	12
3. 2 聞き取り調査	13
3. 3 その他	14
3. 4 活動報告	15
4. 社会貢献	
4. 1 外部委員等	17
4. 2 講師派遣	23
4. 3 支援・協働	34
4. 4 連携協定	37
4. 5 その他	37
5. 研究	
5. 1 研究クラスター	38
5. 2 学長裁量経費	39
5. 3 受託研究	39
5. 4 共同研究	40
5. 5 受託事業	41
5. 6 助成金	41
5. 7 寄付金	42
5. 8 その他	43
6. 研究業績	
6. 1 著書	44
6. 2 論文	44
6. 3 研究発表等	50
6. 4 受賞・表彰	56
6. 5 その他	57

III 徳島大学環境防災研究センター規則	58
----------------------	----

I. 目的・組織

1. はじめに

徳島大学環境防災研究センターは、環境と防災に関わる諸問題を文理両面から総合的に研究するとともに、研究成果を活用した地域連携ならびに地域貢献事業を推進する学内共同教育研究施設として、全学的な協力・支援体制のもと平成16年4月1日に発足しました。

2. 目的

南海トラフ地震は南海トラフ沿いを震源域とするプレート境界型の巨大地震で、10年以内に発生する確率は20～30%程度、20年以内に発生する確率は50%程度とされています。徳島県では、この地震による津波災害、構造物被害、土砂災害等への対策や地震後の人的・物的被害に対する短期・長期的支援や復旧活動に関わる社会的、医療的問題等、早急に解決しなければならない課題が山積しています。

他方、前世紀後半における人間活動の急激な拡大や地球温暖化の進行が世界的な異常気象をもたらし、地球規模で見れば洪水・渇水災害、異常高・低温災害、強風・竜巻災害、斜面災害等が昨今、日常的に発生しています。さらには、大気・土壌・地下水汚染など化学物質に由来する環境災害も依然として深刻な状況にあります。

このように、災害危険度の増大や災害形態の変貌等、いわゆる負の遺産の蓄積が明白な中で、わが国では、安全・安心な社会を構築し、次世代に引き継ぐために、産・官・学一体となって防災対策ならびに危機管理体制の確立と充実に向けた機運が高まってきています。

一方、防災対策と自然環境の保全が往々にして対立の構図を描く点を見逃すわけにはまいりません。すなわち、防災対策など的人為作用が自然環境系とくに生態系に大きいダメージを与え、しばしば社会的な批判を浴びてきた点です。今後の防災対策では、その実効性の追求は勿論であるが、自然を尊重し、環境との共生を図ることが重視されなければなりません。

以上のような防災と環境の問題を合理的に解決するためには、関連する学術分野が単独に個別課題の研究の高度化を図るだけでは不十分です。課題の本質からして、工学分野、理学分野、人文・社会科学分野、医・薬学分野など、広範な学術分野間の有機的な連携と協働が不可欠です。さらに、これらの研究成果を広く学会ならびに社会に発信するとともに、とくに地域性の強い課題については、その解明と解決に向けて具体的かつ積極的な支援を行ってゆく必要があります。

徳島大学環境防災研究センターでは、以上のような観点より、

- ①地域の防災・環境・危機管理に関連する研究の高度化、
- ②地域の防災・環境・危機管理に関連する学内分野の連携・協働体制の形成と支援、
- ③研究成果を活用した地域貢献・支援活動の推進、
- ④地域の防災・環境関連情報の集積・管理・発信とその有効利用法の開発、

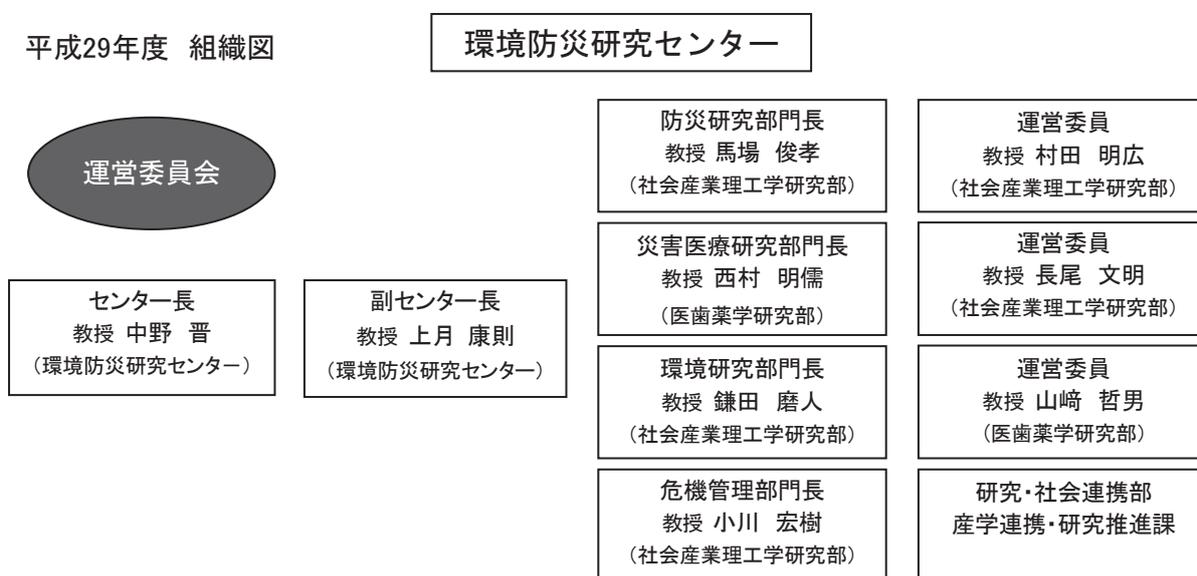
を推進する文理融合型の研究活動拠点となることを目的としています。

3. 組織と運営

センターにはセンター長、副センター長のもとに4部門（組織図参照）を置き、研究と地域連携事業を推進することとしています。平成19年度からは全学共通教育の中で徳島大学防災リーダー養成講座として科目提供を行っている他、平成25年度からは大学院先端技術科学教育部において、四国防災・危機管理プログラムを提供するなど、研究成果を教育に活かす活動も行っています。センターの運営全般に関わる事項については、正・副センター長と4名の部門長、さらにその他運営委員会が認めた者を加えて構成する運営委員会が所掌し、事務一般は、研究推進部産学連携・研究推進課が担当しています。全学から期限付きで招致された教員からなるプロジェクト推進チームで多くの研究・事業プロジェクトを精力的に進めています。

本センターの平成29年度の運営体制（平成30年3月1日時点）は次図のとおりです。

平成29年度 組織図



防災研究部門	三輪 昌史 准教授	環境研究部門	渡辺 公次郎 助教	湯浅 恭史 助教
馬場 俊孝 教授	田口 太郎 准教授	鎌田 磨人 教授	小串 重治 客員准教授	金井 純子 助教
中野 晋 教授	内藤 直樹 准教授	上月 康則 教授	西田 貴明 客員准教授	川崎 克寛 徳島大学COCプラス推進本部・コーディネーター
村田 明広 教授	矢部 拓也 准教授	近藤 光男 教授		
長尾 文明 教授	山中 亮一 講師	浜野 龍夫 教授	危機管理研究部門	
武藤 康則 教授		河口 洋一 准教授	小川 宏樹 教授	技術スタッフ
山本 真由美 教授	災害医療研究部門	奥嶋 政嗣 准教授	中野 晋 教授	楠 則子 技術補佐員
蔣 景彩 准教授	西村 明儒 教授	石田 和之 准教授	上月 康則 教授	平田 順子 技術補佐員
西山 賢一 准教授	佐藤 健二 教授	山城 考 准教授	山中 亮一 講師	
田村 隆雄 准教授	内海 千種 准教授	山中 亮一 講師	畠 一樹 特任講師	
上野 勝利 准教授	石上 安希子 講師	佐々木 千鶴 講師	光原 弘幸 講師	

II 平成29年度活動状況

1. 運営委員会等関係

1. 1 運営委員会

第1回運営委員会

- 1) 開催日 平成29年4月11日(火) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) H29事業計画について
 - (2) 部門スタッフの推薦について
 - (3) 運営委員会第4号委員について

第2回運営委員会

- 1) 開催日 平成29年5月25日(木) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 地域防災力強化事業業務(避難支援マップ作成業務)の実施について
 - (2) 寄附金の受け入れについて

第3回運営委員会

- 1) 開催日 平成29年6月15日(木) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 「吉野川河口「今」「明日」を考えるフォーラム」に係る共催名義について
 - (2) 第5回九州・中国・四国地域防災情報交換会の開催について
 - (3) その他
- 3) 報告事項
 - (1) 平成29年4～6月 事業計画について
 - (2) 防災士養成講座の実施状況並びに実施予定について
 - (3) 大阪地方気象台長表彰について
 - (4) 2016年熊本地震災害調査報告会について
 - (5) その他

第4回運営委員会

- 1) 開催日 平成29年6月21日(水) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 共同研究の受入について
- 3) 報告事項
 - (1) 受託研究の受け入れについて

第5回運営委員会

- 1) 開催日 平成29年7月3日(月) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 共同研究の受入について

3) 報告事項

- (1) 平成 29 年度ひらめきときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI（研究成果の社会還元・普及事業）の実施について
- (2) 受託研究の受け入れについて
- (3) 寄附金の受け入れについて

第 6 回運営委員会

- 1) 開催日 平成 29 年 8 月 3 日（木）[電子メール会議]
- 2) 議 題
 - (1) 共同研究の受入について
- 3) 報告事項
 - (1) 寄附金の受け入れについて

第 7 回運営委員会

- 1) 開催日 平成 29 年 9 月 4 日（月）[環境防災研究センター]
- 2) 議 題
 - (1) 後援名義の使用について
- 3) 報告事項
 - (1) 平成 29 年 7～8 月事業計画について
 - (2) 寄附金の受け入れについて
 - (3) 第 5 回九州・中国・四国地域防災情報交換会の開催について
 - (4) その他

第 8 回運営委員会

- 1) 開催日 平成 29 年 10 月 2 日（月）[環境防災研究センター]
- 2) 議 題
 - (1) 部門スタッフの推薦について
 - (2) OUR 愛ぼうさいについて
 - (3) その他
- 3) 報告事項
 - (1) 平成 29 年 9 月事業計画について
 - (2) 平成 29 年度地域適応コンソーシアム地域事業委託業務について
 - (3) 受託研究契約の受入について
 - (4) 第 5 回九州・中国・四国地域防災情報交換会について
 - (5) 2017 年九州北部豪雨災害調査報告会について
 - (6) 「地域継続シンポジウム～鳥取県中部地震から一年、市町村 BCP を考える～」の開催について
 - (7) 徳島大学の防災展について

第 9 回運営委員会

- 1) 開催日 平成 29 年 11 月 6 日（月）[建設棟 A303 会議室]

2) 議 題

なし

3) 報告事項

- (1) 平成 29 年 10 月事業報告について
- (2) 寄付金の受入について
- (3) 徳島大学の防災展について

第 10 回運営委員会

1) 開催日 平成 30 年 1 月 9 日 (火) [建設棟 A303 会議室]

2) 議 題

- (1) 大学院改革における四国防災・危機管理プログラムの方向性について

3) 報告事項

- (1) 平成 29 年 11～12 月の事業報告と今後の予定
- (2) 四国 4 県防災危機管理担当課長と 5 大学連携防災・減災教育協議会について
- (3) インセンティブ経費について
- (4) その他

第 11 回運営委員会

1) 開催日 平成 30 年 2 月 5 日 [建設棟 A303 会議室]

2) 議 題

- (1) 客員教授の選考について
- (2) 環境防災研究センター規則の改正について
- (3) 講演会の開催について (防災展関連イベント)
- (4) その他

3) 報告事項

- (1) 平成 30 年 1 月の事業報告と今後の予定
- (2) その他

第 12 回運営委員会

1) 開催日 平成 30 年 3 月 5 日 (月) [環境防災研究センター]

2) 議 題

- (1) 客員教授の選考について
- (2) 「BCP (事業継続計画) トップセミナー in 徳島」に係る共催名義の使用について
- (3) その他

3) 報告事項

- (1) 平成 30 年 2 月までの事業報告と今後の予定
- (2) 四国 4 県防災危機管理担当課長と 5 大学連携防災・減災教育研究協議会委員との打合せ (第 5 回) について
- (3) その他

2. 主催・共催等事業

2. 1 主催事業

1) 徳島県企業防災推進委員会 BCP研究部会

座 長：徳島大学環境防災研究センター 中野 晋

講 師：徳島大学環境防災研究センター 湯浅 恭史

主 催：徳島大学環境防災研究センター，徳島県商工観光労働部商工政策課

場 所：徳島大学工業会館

・第1回「平成28年熊本地震の企業対応事例」

日 時：平成29年5月26日（木）14：00～16：00

参加企業数等：14事業者，20名

・第2回「応急危険度判定について」

日 時：平成29年7月28日（木）14：00～16：00

参加企業数等：11事業者，23名

・第3回「企業の危機対応体制について」

日 時：平成29年9月14日（木）14：00～16：00

参加企業数等：13事業者，20名

・第4回「レジリエンス認証について」

日 時：平成29年11月22日（木）14：00～16：00

参加企業数等：23事業者，42名

・第5回「残念なBCPについて」

日 時：平成30年1月24日（木）14：00～16：00

参加企業数等：11事業者，18名

・第6回「中小企業BCP導入ガイドについて」

日 時：平成30年3月22日（木）14：00～16：00

参加企業数等：17事業者，30名

2) 2016年熊本地震災害調査報告会

日 時：平成29年6月1日13：00～16：00

場 所：徳島大学工業会館

参加者：80名

内 容：平成28年4月14・16日に発生した熊本地震災害の調査報告

講 演：村田 明広「布田川断層と日奈久断層」

西山 賢一「斜面災害の特徴と被害」

蔣 景彩「熊本地震による液状化及び地盤変状被害」

小川 宏樹「木造住宅の被害と耐震化の推進」

上月 康則「西原村ボランティアセンター統括の活動」

藤本 延啓（熊本学園大学講師）

「西原村における被災・復旧・復興と災害ボランティアセンターの運営」

湯浅 恭史「医療機関の初動対応」

中野 晋「教育機関の応急対応と学校再開」

井上 惣介（博士後期学生）「地元建設業の災害対応」

金井 純子「福祉避難所の開設と対応」

3) 平成 29 年度徳島県地域防災推進員養成講座

日 時：平成 29 年 7 月 8～29 日

場 所：徳島大学共通講義棟 K407 教室，徳島県南部総合県民局，徳島県西部総合県民局

参加者：128 名

4) 平成 29 年度徳島県職員防災講習会

日 時：平成 29 年 8 月 2～18 日

場 所：徳島県自治研修センター

参加者：146 名

5) 地震と津波の防災講演会

日 時：平成 29 年 9 月 20 日 13：00～14：15

場 所：徳島大学共通講義棟 K201 号室

参加者：50 名

講 演：香川 敬生（鳥取大学大学院教授）「2016 年鳥取県中部地震の災害調査から」

馬場 俊孝（徳島大学大学院教授）「南海トラフ地震による津波と対策」

（第 5 回九州・中国・四国地域防災情報交換会開催に合わせて実施）

6) 第 5 回九州・中国・四国地域防災情報交換会

日 時：平成 29 年 9 月 20 日 15：00～9 月 21 日 15：00

場 所：徳島大学共通講義棟 K201 号室

参加者：50 名

内 容：九州，中国，四国の国立 10 大学による情報交換会，現地視察を実施

7) 徳島大学常三島地区避難所研修会

日 時：平成 29 年 10 月 1 日 10：00～12：00

場 所：徳島大学共通講義棟創成学習スタジオ

参加者：約 80 名

内 容：渭北地区の地域住民対象に避難所利用と運営に関する研修会を開催

8) 地域継続シンポジウム「鳥取県中部地震から一年，市町村BCPを考える」

日 時：平成 29 年 11 月 6 日 13：30～16：30

場 所：徳島県教育会館

主 催：徳島県，徳島大学環境防災研究センター

参加者：90 名

講 演：吉川 仁彦（倉吉市役所防災安全課課長）「鳥取県中部地震における倉吉市の災害対応」

報 告：「鳥取県中部地震被害から」

①中野 晋（徳島大学環境防災研究センターセンター長）「学校・保育園の初動対応」

②小川 宏樹（徳島大学環境防災研究センター危機管理研究部門長）「文化財の被害と復旧」

特別講演：紅谷 昇平（兵庫県立大学大学院准教授）「自治体の業務継続と災害対応資源の確保」

9) 2017 年九州北部豪雨災害調査報告会

日 時：平成 29 年 12 月 7 日 13：30～16：00

場 所：徳島大学工業会館

参加者：60 名

報 告：武藤 裕則「2017 年九州北部豪雨の降雨特性と河道災害」

西山 賢一「2017 年九州北部豪雨で発生した土砂災害」

蔣 景彩「豪雨被害を拡大させた流木と土砂の川への流入」

中野 晋「学校・保育所の災害対応」

金井 純子「高齢者施設の災害対応」

10) 徳島大学の防災展～見て、触れて、食べて、学ぶ防災～

<展示>

日 時：平成 29 年 12 月 11 日～3 月 9 日

場 所：徳島大学日亜会館ガレリア新蔵

入場者：約 4,000 人

<関連イベント>

場 所：徳島大学日亜会館

①親子向けイベント「だがしや BCP&遊んで学ぶ防災」

日 時：平成 30 年 1 月 6 日 9：00～17：00

参加者：約 50 名

②体験ワークショップ「火を使わない非常食グルメ～作って食べて考えよう！」

講 師：湯浅恭史（徳島大学助教）

日 時：平成 30 年 1 月 21 日 14：00～16：00

参加者：17 名

③浸水高体験コーナー「津波の高さをみてみよう」

講 師：河原崎 貴光（徳島大学准教授），塚本 章宏（徳島大学准教授）

日 時：平成 30 年 2 月 3 日 14：00～17：00

参加者：約 60 名

④女性向けワークショップ「女性目線の防災・減災」

コーディネーター：金井 純子（徳島大学助教）

日 時：平成 30 年 2 月 17 日 13：00～16：00

参加者：約 60 名

⑤講演会「地震・津波から死者ゼロを実現するための備え～東日本大震災の教訓に学ぶ」

講 師：菅野 和夫（山田伝津館の語り部・岩手県宮古市上村町内自主防災会会長）

日 時：平成30年2月19日19:00～20:00

参加者：41名

1 1) 事前復興シンポジウム「巨大災害を迎え撃つ地域イノベーションの創出」

日 時：平成29年12月17日13:30～16:15

場 所：徳島グランヴィリオホテル

主 催：徳島県，徳島大学環境防災研究センター

参加者：約200名

講 演：「災害を乗り越え，その先の徳島・四国強靱化に向けて」

ー減災科学，人材育成，地域イノベーションについて考えるー

香川大学四国危機管理教育研究地域連携推進機構 副機構長 金田 義行

「南海トラフ巨大地震とイノベーション」京都造形芸術大学学長 尾池 和夫

参加者とのディスカッション：ファシリテーター／徳島大学環境防災研究センターセンター長 中野 晋

1 2) 自治体BCP研修会

(県央地域) 平成30年2月14日13:30～16:30，徳島県庁，参加者9名

(県南地域) 平成30年2月21日10:00～13:00，阿南市役所，参加者9名

(県北地域) 平成30年2月26日13:30～16:30，鳴門市消防庁舎，参加者8名

(県西地域) 平成30年3月1日13:30～16:30，阿波市役所，参加者8名

講 師：徳島大学環境防災研究センター 中野 晋，同 湯浅 恭史

主 催：徳島大学環境防災研究センター，徳島県危機管理部危機管理政策課

内 容：自治体BCPの見直し，受援体制の構築，連携体制の検討等

2. 2 共催・協力事業

1) 第4回勝浦川流域フィールド講座

日 時：平成29年4月29日，とくしま県民活動プラザ

平成29年5月14日，上勝町高丸山および千年の森ふれあい館

平成29年5月28日，上勝町榎原棚田周辺および千年の森ふれあい館

平成29年7月2日，勝浦町稼勢山

平成29年7月23日，勝浦川下流

平成29年9月3日，勝浦川中流

平成29年9月18日，勝浦川河口

平成29年10月15日，とくしま県民活動プラザおよび勝浦川流域

主 催：徳島県，とくしま生物多様性センター，NPO 徳島保全生物学研究会，生物多様性とくしま会議

共 催：徳島大学環境防災研究センター

受講生：15名

内 容：8回の連続講座として講義および現場実習を行い「生物多様性リーダー」を養成した（徳島県知事認定）

2) とくしま生物多様性活動推進フォーラム

「生物多様性・生態系の保全と企業価値-SDGs・ESG投資・グリーンインフラ」

日 時：平成29年12月11日13:00～16:30

場 所：とくぎんトモニプラザ3階大会議室

主 催：NPO 徳島保全生物学研究会

共 催：徳島大学環境防災研究センター

参加者：100名

内 容：SDGs・ESG投資・グリーンインフラ等に見られる生物多様性・生態系保全活動による企業の価値付け等についての講演を行った

3) 第7回吉野川源流域の森で行う森の健康診断

日 時：平成29年10月7日10:00～16:30

場 所：早明浦ダム

主 催：NPO 法人新町川を守る会

共 催：NPO 法人どんぐりネットワーク、かみかつ里山倶楽部

協 力：徳島大学環境防災研究センター

後 援：独立行政法人水資源機構吉野川本部、徳島県、香川県

参加者：50名

内 容：市民参画型のスギ・ヒノキ人工林の森林調査

4) 日本クマネットワークシンポジウム

「四国のツキノワグマ知っとな？ 剣山系のツキノワグマ保全に向けて」

日 時：平成30年1月28日13:00～16:30

場 所：徳島大学工業会館

主 催：日本クマネットワーク

協 力：徳島大学環境防災研究センター

参加者：100名

内 容：四国のツキノワグマ保護プロジェクトについての紹介

5) 徳島県災害時対応研究会 第7回研修会

「災害時遺族支援の『これまで』と『これから』－日本DMORTと熊本地震－」

日 時：平成30年2月25日14:00～17:30

場 所：徳島大学長井記念ホール

主 催：徳島災害時対応研究会

共 催：徳島大学環境防災研究センター

参加者：60名

- 対 象：徳島県医師会，徳島県歯科医師会，徳島県下医療関係者，徳島県庁，徳島県警，海上保安庁，海上自衛隊，消防関係者，他
- 内 容：吉永 和正（日本 DMORT 理事長・協和マリーナホスピタル院長）「日本 DMORT～法人化により新しい段階へ」
河野 智子（京都第一赤十字病院看護師長）「DMORT 活動の実践と実際～熊本地震の現場より」
村上 典子（日本 DMORT 副理事長・神戸赤十字病院心療内科部長）「これまでの DMORT 活動の評価と今後の課題」

6) 第 6 回 防災・危機管理人材養成シンポジウム

- 日 時：平成 30 年 3 月 15 日 13：00～16：50
- 場 所：香川大学工学部
- 主 催：四国防災共同教育センター
- 共 催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構，徳島大学環境防災研究センター
- 後 援：国土交通省四国地方整備局，土木学会四国支部，地盤工学会四国支部，日本技術士会四国本部，香川県技術士会
- 参加者：150 名
- 内 容：四国防災・危機管理プログラム成果報告及び第 4 期修了生の成果発表，災害・危機対応マネージャーの活動報告，特別講演等

7) BCP トップセミナー in 徳島

- 日 時：平成 30 年 3 月 16 日 14：30～17：10
- 場 所：ホテルサンシャイン徳島
- 主 催：徳島県・徳島県中小企業団体中央会・とくしま BCP 支援センター
- 共 催：徳島大学環境防災研究センター
- 参加者：60 名
- 内 容：徳島県企業 BCP 認定制度認定証交付式，認定企業プレゼンテーション，BCP 講演等

8) 四国 4 県・5 大学連携防災・減災シンポジウム

- 日 時：平成 30 年 3 月 29 日 13：30～16：30
- 場 所：香川大学工学部
- 主 催：徳島県，香川県，愛媛県，高知県，徳島大学，鳴門教育大学，香川大学，愛媛大学，高知大学
- 主 管：香川県、香川大学
- 参加者：200 名
- 内 容：基調講演，パネルディスカッション等

2. 3 その他

1) 吉野川干潟観察会

上月 康則，平成 29 年 7 月 29 日，吉野川干潟の生き物や栄養のジュンカンの在り方を学ぶ観察会，50 名（ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～）

3. 調査

3. 1 災害調査（内容，場所，日時，担当者）

<防災研究部門>

- (1) 熊本県益城町布田川断層帯トレンチ調査観察，平成 29 年 4 月 22 日，村田 明広
- (2) 台風 21 号強風被害調査
牟岐町役場・海部病院周辺，平成 29 年 10 月 24 日，長尾 文明
那賀町木頭出原，木頭北川，平成 29 年 10 月 31 日，長尾 文明
- (3) 2017 年九州北部豪雨災害調査，福岡・大分，平成 29 年 9 月 5～7 日，蔣 景彩
- (4) 熊本地震調査，平成 29 年 4 月 26～30 日，8 月 25～30 日，10 月 26～29 日，12 月 20～22 日，西山 賢一
- (5) 九州北部豪雨災害調査，平成 29 年 8 月 2～5 日，9 月 1～3 日，西山 賢一
- (6) 2011 年台風 12 号災害調査，平成 29 年 11 月 23～26 日，西山 賢一
- (7) 東日本大震災被災地での環境に配慮した防潮堤の整備状況に関する調査
塩竈市，大船渡市，気仙沼町，多賀城市，平成 29 年 12 月 5～7 日，上月 康則，山中 亮一，石河 雅典，岡崎 健

<環境研究部門>

- (1) 20 年間での大阪湾の水質，生物相の変化に関する調査（護岸・防波堤への付着生物を対象に）
大阪湾，平成 29 年 8 月 6 日，平成 30 年 3 月 18 日，上月 康則 ほか
- (2) 高砂・この浦舟池での里海づくりに関する調査
高砂市，平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日（計 4 回），上月 康則 ほか
- (3) ルイスハンミョウの生息代替地に関する調査
徳島市，平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日（計 20 回），上月 康則，渡辺 雅子 ほか
- (4) アサリ養殖場としての干潟再生に関する調査
長洲町，平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日（計 4 回），上月 康則 ほか
- (5) 尼崎運河における水質調査
尼崎運河水質浄化施設ほか，平成 29 年 4 月 16 日 10～18 時，5 月 21 日 10～18 時，6 月 18 日 10～18 時，7 月 16 日 10～18 時，8 月 20 日 10～18 時，9 月 24 日 10～18 時，10 月 14 日 10～16 時，11 月 19 日 10～17 時，12 月 17 日 10～18 時，1 月 21 日 10～18 時，2 月 18 日 10～18 時，山中 亮一 ほか
- (6) 尼崎運河における広域水質調査
尼崎運河水質浄化施設ほか，平成 29 年 5 月 29 日，8 月 21 日，11 月 30 日，平成 30 年 3 月 2 日，各日 10～18 時，山中 亮一 ほか

<危機管理研究部門>

- (1) 倉吉市打吹玉川地区重要伝統的建造物群保存地区における平成 28 年鳥取県中部地震による建造物の被害・災害復旧（修理修景）調査
鳥取県倉吉市，平成 29 年 6 月 30 日・7 月 1 日，小川 宏樹

(2) 2017年九州北部豪雨調査

福岡県及び大分県，平成29年8月30・31日，9月10～12日，中野 晋

福岡県朝倉市・東峰村・大分県日田市，平成29年8月29～31日，金井 純子

(3) 東日本大震災被災地での粘り強い防潮堤復興状況に関する調査

仙台市，岩沼市，気仙沼市，大船渡市，平成29年4月3～5日，上月 康則，石河 雅典，大久保 陽介

(4) 東日本大震災被災地での復興まちづくりに関する調査

釜石市，大槌町，平成29年6月26～28日，上月 康則，石河 雅典，大久保 陽介

(5) 東日本大震災被災地での環境に配慮した防潮堤の整備状況に関する調査，塩竈市，大船渡市，気

仙沼町，多賀城市，2017年12月5日～7日，上月 康則，山中 亮一，石河 雅典，岡崎 健

(6) 熊本地震ヒアリング調査，被災病院の対応等

平成29年5月17・18日，湯浅 恭史

3. 2 聞き取り調査

<環境研究部門>

(1) 尼崎運河における活動の詳細についてのヒアリング調査

場所：尼崎運河北堀チャンネルベース，平成29年12月25日，平成30年1月23，25，28日
コンテンツ，平成30年1月25日

担当者：山中 亮一

<危機管理研究部門>

(1) 2016年鳥取県中部地震調査

倉吉市内の保育所等の災害対応，平成29年10月26日，中野 晋

倉吉養護学校，障害者施設の災害対応，平成29年11月17日，中野 晋

(2) 放課後児童クラブ防災対策実態調査

高知県教育委員会，平成30年2月27日，中野 晋

(3) 高齢者福祉施設防災対策実態調査

香川県長寿社会対策課，平成30年2月28日，中野 晋

(4) 2016年熊本地震調査

熊本県建設業協会，平成30年3月7・8日，中野 晋

(5) 2017年九州北部豪雨調査

大分県建設業協会日田支部，小野小学校等，平成30年3月8・9日，中野 晋

(6) 避難経路におけるブロック塀の安全対策に関するヒアリング調査

仙台市役所，宮城県庁，東北工業大学最知教授，国分寺市役所，高木町自治会，平成30年2月26～28日，上月 康則，井若 和久，山崎 隆成，藤川 瑞生

(7) 東北大学BCPヒアリング調査，大学病院BCP，中小企業BCP

平成29年10月11・12日，湯浅 恭史

- (8) 徳島県内災害拠点病院ヒアリング調査，防災・BCP への取り組み等
平成 29 年 10 月 19, 30 日，11 月 2, 10, 16 日，湯浅 恭史

3. 3 その他

<防災研究部門>

- (1) 津波避難訓練調査
徳島市沖洲町グループホーム健祥会彦左，平成 29 年 9 月 29 日，馬場 俊孝
- (2) 平成 29 年度美波町町内一斉地震・大津波避難訓練調査
美波町日和佐地区，平成 29 年 11 月 4 日，馬場 俊孝

<危機管理研究部門>

- (1) 徳島市津田地区におけるブロック塀調査
徳島市津田地区，平成 29 年 8 月 22・23 日，小川 宏樹

3. 4 活動報告

- ①文化財の被害と復旧～打吹玉川伝統的建造物群保存地区の調査から～小川 宏樹

文化財の被害と復旧 ～打吹玉川伝統的建造物群保存地区の調査から～

徳島大学環境防災研究センター 小川 宏樹

1. はじめに

1) 伝建地区制度とは

伝統的建造物群保存地区(以下、伝建地区)は、昭和50年の文化財保護法の改正により制度化され、城下町や宿場町など歴史的な集落・町並みを保存するための制度である。市町村が伝統的建造物群保存地区を決定し、保存条例に基づき保存計画を定め、この内、価値が高いと判断したものを国が重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建地区)に選定する。

重伝建地区にはH29年度7月現在、全国で115地区が選定されており、徳島では脇町南町(美馬市)、東祖谷山村落合(三好市)、出羽島(牟岐町)が選定されている。

2. 打吹玉川伝建地区について

1) 倉吉市打吹玉川地区の概要

鳥取県倉吉市の打吹玉川伝建地区は、天正年間(1573-92)に打吹城の城下として、町の骨格が形成された。江戸時代には、鳥取藩家老荒尾氏の陣屋が置かれ、水路網(玉川)が整備された(図-1)。明治以降、市街地が周辺に拡大したため、町割りや水路の改変が少ない(図-2)。

2) 打吹玉川伝建地区の概要

打吹玉川伝建地区は、現在の研屋町、魚町、東中町、西中町及び西町の全域並びに、堺町一丁目、新町一丁目、新町二丁目及び新町三丁目の各一部に位置する陣屋跡の北側の南北200m、東西600mの範囲9.2haが指定されている。重伝建には、平成10年12月に指定され、平成22年12月に現在の範囲に拡大した。選定基準として、伝統建造物群が全体として意匠的に優秀であることが挙げられる。加えて平成19年には、美しい日本の歴史的風土100選にも選定されている。

この地区の伝統的な建築物は、主屋・土蔵・離れ・付属屋・裏門倉で構成され、建物構造はつし二階建もしくは二階建の切妻屋根・平入となっている。これらの建造物の建築年代の構成は、江戸末期数棟、明治中期3割、大正期2割、昭和前期2割となっている。その他工作物として、玉川沿いの白壁の土蔵群や石橋も指定されている。なお、伝統的な建築物と工作物を併せて「特定物件」と称する。

平成28年3月現在、地区内人口511人・世帯数240世帯に対して、伝統的建造物数は412件(建築物346件、工作物66件)がある。この内、所有者が保存に同意した物(以下、特定物件)は346件が指定されている。重伝建制度では、伝建地区内の特定物件に対し国や自治体の補助により修理が行われ、打吹玉川地区では、これまでに92件の修理が行われている(進捗率27%)。この他にも、特定物件以外の建造物で外観を修景した物が23件ある

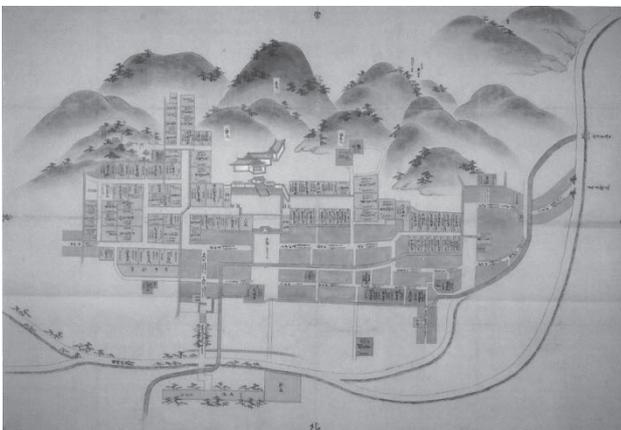


図-1 倉吉侍屋敷町家絵図(1789-1801頃)
(倉吉市教育委員会提供)

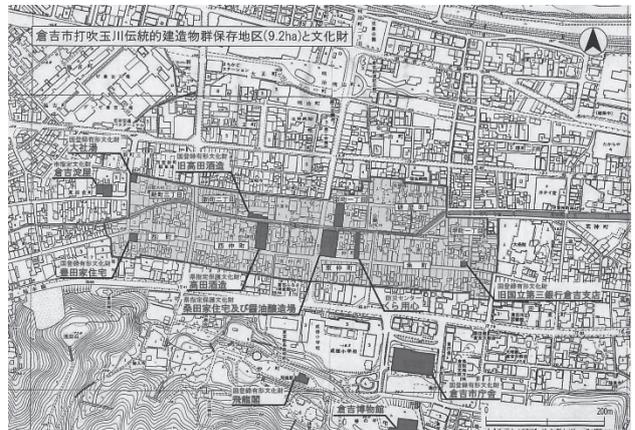


図-2 現在の打吹玉川地区の様子
(倉吉市教育委員会提供)

3. 打吹玉川伝建地区の被害と災害対応

1) 平成28年鳥取県中部地震による被害

平成28鳥取県中部地震では、倉吉市で震度6弱(M6.6)の揺れを観測した。この地震の特徴として、周期0.4秒前後の単周期の揺れが卓越していた。このため、木造家屋の倒壊に結びつく1~2秒の成分が小さかったことで、屋根瓦等の小構造物の被害が多い一方、家屋の倒壊は少なかった(写真-1)。

打吹玉川地区の建造物の被害について、建築物の被害は、特定物件214棟、非特定物件148棟であった。さらに、工作物の被害は、特定工作物12件、非特定工作物5件であった。



写真-1 被害の様子

2) 倉吉市教育委員会での災害対応

伝建地区にの文化財に対する災害対応は、主に教育委員会が対応する。本調査では、平成29年6月30日に倉吉市教育委員会に対し、平成28鳥取県中部地震への対応に関するヒアリング調査を実施した(表-1)。

発災直後の初動対応として、職員により伝建地区の被害の概要把握が行われた。被害状況の把握が終わった1週間後あたりから、地域住民への対応が開始され、説明会、修理相談が行われた。また、建築の専門家である建築士やヘリテージマネージャー(文化財建築の専門家)との協力し、調査やとりまとめが行われた。

さらに被災建造物に対する直接的な業務以外にも、特定物件の修理に必要な人的資源や予算を確保するため、文化庁、内閣府、県への対応調査の同行や、補助金申請などの業務も行われた。

4. まとめ

本調査を通じた、文化財建築物(群)の防災と復旧・復興に対する知見は以下の通りである、

- ① 通常の伝建修理の重要性：伝建修理で耐震工事を行った物件は被害が少なかった。
- ② 日常の地区住民とのコミュニケーション：伝建制度の周知が、迅速な修理を補助制度の説明につながった。
- ③ 専門家とのコミュニケーション：建築物の被害状況を把握する必要があることから、調査を実施するため、建築士、ヘリテージマネージャーといった建築の専門家との協力が不可欠であった。
- ④ 特定物件の台帳整備：特定物件に指定することで、事前に建物の図面が整備できる。予め図面を作成していた物件では、迅速な調査、修理対応ができた。

表-1 平成28鳥取県中部地震における倉吉市教育委員会の災害対応

対応時期	主な業務	具体的内容
地震発生時~1日目	・被害の概要把握	・待機解除後、調査 ・博物館の支援
1日目~1週間	・被害の概要把握 ・文化庁協議、現地指導 ・県への調査協力依頼	・建築士との現地確認 ・住民説明会準備 ・マスコミ対応 ・10月補正予算対応
1週間~1ヶ月	・内閣府調査、文化庁調査 ・住民説明会、修理相談対応 ・ヘリテージ調査	・国の調査への同行 ・住民への修理相談 ・被害報告書の作成
1ヶ月~	・補助金申請説明会 ・国費申請準備	・住民へ調査結果の返送 ・住民、業者への補助金申請の説明会 ・国の補助金申請

4. 社会貢献

4. 1 外部委員等（依頼機関，委員会等名，委嘱期間，職名 など）

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 文部科学省，地震調査研究推進本部，2012年4月～，専門委員
- (2) 日本地震学会，2016年4月～2018年3月，理事
- (3) 日本地震学会，2016年4月～2018年3月，大会企画委員長

村田 明広

- (1) 城南高校 SSH 運営指導委員会，2005年4月～，委員
- (2) 地学オリンピック，2008年4月～，徳島県コーディネーター
- (3) 野島断層活用委員会，2012年4月～，委員
- (4) 徳島県中央構造線検討委員会，2013年4月～，委員
- (5) NHK 四国地方放送番組審議会，2014年1月～2017年12月，委員
- (6) 土木学会，断層活動性小委員会，2015年12月～，委員

蔣 景彩

- (1) 国土交通省四国地方整備局，2009年～，防災有識者
- (2) 地盤工学会「災害連絡会議」，2008年～，地方連絡委員（徳島県）

西山 賢一

- (1) 長崎県佐世保市，福井洞窟遺跡整備検討委員会，2009年5月～，委員
- (2) 国土交通省四国地方整備局道路部道路管理課，2014年～，道路防災有識者
- (3) 徳島県環境審議会温泉部会，2016年～，委員
- (4) 産業技術総合研究所，地質図 JIS 改正原案作成委員会，2017年，委員
- (5) 徳島県有瀬地区地すべり対策検討委員会，2017年3月～，委員
- (6) 徳島県廃棄物処理施設設置専門委員会，2017年3月～，委員
- (7) 阿波学会（徳島県立図書館），2017年4月～，評議員および副編集委員長
- (8) 高知県谷ノ内地すべり対策方針策定委員会，2017年12月～，委員

<災害医療部門>

内海 千種

- (1) 徳島県，徳島県防災会議，2015年9月～，委員
- (2) 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構，兵庫県こころのケアセンター，こころのケア研究推進協議会，2016年3月～，委員
- (3) 徳島県臨床心理士会，2016年4月～，非行・犯罪・被害者支援領域部会長
- (4) 日本トラウマティック・ストレス学会，2015年6月19日～，理事（広報委員長），2016年5月19日～，災害対応委員

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 環境省自然環境局生物多様性センター，平成 29 年度 自然環境保全基礎調査 植生調査植生図作成業務に係る中国四国ブロック調査会議，2017 年 9 月～2018 年 3 月，委員
- (2) 中国四国農政局四国東部農地防災事業所，吉野川下流域農地防災事業に係る河川環境調査委員会，2017 年 7 月～2018 年 3 月，委員
- (3) 国土交通省四国地方整備局，吉野川学識者会議，2017 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日，委員
- (4) 国土交通省四国地方整備局，吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会，2017 年 10 月～2019 年 3 月，委員
- (5) 国土交通省四国地方整備局，四国圏域生態系ネットワーク推進協議会，2018 年 1 月～2019 年 3 月，委員
- (6) 国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所，勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会，2017 年 4 月 18 日～2018 年 3 月 31 日，委員
- (7) 徳島県，環境審議会，2016 年 8 月～2018 年 7 月，委員（鳥獣保護部会長）
- (8) 徳島県県民環境部，環境審議会自然環境部会 生物多様性とくしま戦略検討小委員会，2017 年 12 月 22 日～2018 年 3 月 31 日，委員長
- (9) 徳島県県民環境部，徳島県希少野生生物保護検討委員会，2017 年 4 月～2018 年 3 月，委員長
- (10) 徳島県県民環境部，とくしま生物多様性活動推進協議会，2017 年 4 月～2019 年 3 月，会長
- (11) 徳島県環境総局環境首都課，徳島県環境アドバイザー，2017 年 4 月 19 日～2018 年 3 月 31 日
- (12) 徳島県西部総合県民局，剣山国定公園地域連携協議会，2016 年 6 月～2018 年 5 月，会長
- (13) 徳島県県土整備部，とくしま川づくり委員会，2016 年 7 月～2018 年 6 月，委員
- (14) 徳島県県土整備部，土木環境配慮アドバイザー，2016 年 4 月～2018 年 3 月，委員
- (15) 徳島市教育委員会，徳島市文化財保護審議会，2016 年 6 月～2019 年 5 月，委員
- (16) 滋賀県，生物多様性保全活動促進事業検討会，2017 年 4 月～2018 年 3 月，委員長
- (17) 西日本高速道路株式会社，四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会，2017 年 4 月～2018 年 3 月，委員（環境部会副部会長）
- (18) 公益財団法人森林文化協会，森林環境研究会，2017 年 4 月～2019 年 3 月，幹事

上月 康則

- (1) 徳島県，徳島県田園環境検討委員会，2018 年 1 月 15 日～2020 年 1 月 14 日，委員長
- (2) 徳島市，徳島市水道ビジョン 2019 策定市民会議，2017 年 11 月 24 日～2018 年 3 月 31 日，委員長
- (3) 徳島市，一般廃棄物中間処理施設整備基本計画技術検討会議，2017 年 10 月 12 日～2018 年 3 月 31 日，委員

- (4) 徳島県，旧吉野川浄化センター栄養塩管理運転検討会，2017年9月26日～2018年3月31日，委員長
- (5) 兵庫県，尼崎21世紀の森づくり協議会，2017年6月1日～2018年3月31日，委員
- (6) 土木学会関西支部，比較沿岸環境工学に基づく今後の大阪湾研究に関する調査研究委員会，2017年4月1日～2018年3月31日，委員
- (7) 国交省四国地方整備局，吉野川学識者会議，2017年4月1日～2018年3月31日，委員
- (8) 土木学会，環境研究部門環境システム委員会，2017年4月1日～2018年3月31日，委員
- (9) 一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア，2017年4月1日～2018年3月31日，委員
- (10) 公益社団法人徳島県環境技術センター，徳島県浄化槽管理士特別認定制度審査委員会，2017年4月1日～2018年3月31日，委員長
- (11) 国交省四国地方整備局，四国地方整備局総合評価委員会地域小委員会，2017年5月1日～2018年10月2日，委員
- (12) 環境省，閉鎖性海域における環境技術実証事業 ETV 事業，2017年4月1日～2018年3月31日，委員
- (13) 中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所，吉野川北岸二期地区環境検討委員会，2017年4月1日～2018年3月31日，委員長
- (14) 阿南市，阿南市水道事業審議会，2017年4月1日～2019年3月31日，委員長
- (15) 徳島県，徳島県廃棄物処理施設設置専門委員会，2017年4月1日～2019年3月31日，委員
- (16) 徳島県，環境アドバイザー，2017年4月1日～2018年3月31日，アドバイザー，
- (17) 西日本高速道路株式会社，四国横断自動車道吉野川渡河部の環境保全に関する検討会，2017年4月1日～2018年3月31日，委員
- (18) 徳島県，徳島県内水面漁場管理委員会，2016年12月20日～2020年12月19日，委員
- (19) 徳島県，吉野川スジオアノリ漁場調査検討会，2016年11月8日～2018年3月31日，委員
- (20) 国交省四国地方整備局，四国地方ダム等管理フォローアップ委員会，2016年8月1日～2020年3月31日，委員
- (21) 徳島県，徳島県公共事業評価委員会，2016年4月1日～2018年3月31日，委員
- (22) 徳島県，土木環境配慮アドバイザー，2016年4月1日～2018年3月31日，委員
- (23) 徳島県，マリンプリア沖洲環境調査検討委員会，2016年4月1日～2018年1月31日，委員
- (24) 水環境学会中四国支部，2001年4月1日～2018年3月31日，幹事
- (25) 全国運河サミット運営委員会，2018年3月1日～2019年3月31日，委員
- (26) 尼崎運河〇〇クラブ，2015年4月1日～2018年3月31日，委員
- (27) NPO 瀬戸内海研究会議，2016年4月1日～2019年3月31日，理事

近藤 光男

- (1) 徳島県，徳島県環境審議会，2016年8月1日～2018年7月31日，会長

- (2) 徳島県，徳島県国土強靱化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員会，2016年6月10日～2018年3月31日，委員長
- (3) 徳島県，自然エネルギー立県とくしま推進委員会，2016年9月1日～2017年8月31日，委員長
- (4) 地球温暖化防止活動推進センター，2017年4月5日～2018年3月31日，センター長
- (5) 阿南市．阿南市環境保全率先行動計画策定委員会，2017年4月1日～2018年7月31日，委員長
- (6) 阿波市．阿波市環境基本計画策定委員会，2017年7月24日～2018年7月31日，委員長

石田 和之

- (1) 公益財団法人徳島森林づくり推進機構「森林づくり運営協議会」2017年8月1日～2019年7月31日，会長

山中 亮一

- (1) 兵庫県立尼崎小田高等学校，兵庫県立尼崎小田高等学校文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクールに係る探究アドバイザー，2017年4月～2018年3月
- (2) 国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所，那賀川学識者会議，2017年4月～2019年3月，委員
- (3) 国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所，長安ロダム環境モニタリング委員会，2016年4月～2018年3月，委員
- (4) 徳島県，生物多様性とくしま戦略検討小委員会，2017年4月～2018年3月

渡辺 公次郎

- (1) 美馬市，美馬市都市計画審議会，2017年8月1日～2019年8月31日，会長
- (2) 美馬市，美馬市都市計画マスタープラン検討委員会，2016年7月20日～2018年3月31日，委員
- (3) 国土交通省四国地方整備局，災害に強いまちづくり検討会，平成22年12月～2018年3月，委員
- (4) 日本建築学会事前復興災害対策小委員会，2017年4月～2019年3月，委員

西田 貴明

- (1) 国土交通省，都市部未利用地のコミュニティ農園活用方策検討委員会，2017年8月～2018年3月，委員
- (2) 国土交通省・水産庁，ブルーカーボン研究会，2017年4月～2018年3月，委員
- (3) 農林水産省，平成29年度農林水産分野の生物多様性の経済的連携スキーム研究会，2017年8月～2018年3月，委員
- (4) 一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会，グリーンレジリエンスワーキンググループ（自然資本活用型次世代インフラ整備促進WG），2017年4月～2018年3月，委員
- (5) 藤沢市，生物多様性藤沢戦略策定検討委員会，2017年4月～2018年3月，委員

(6) 滋賀県，滋賀県生物多様性保全活動促進事業検討会，2017年4月～2018年3月，委員

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

(1) 公益社団法人徳島県建築士会，日常的な災害における「被災住宅復旧マニュアル」の作成検討委員会，2017年8月18日～12月28日，委員

(2) 独立行政法人国民生活センター，商品テスト有識者会議，2017年08月31日～2018年3月31日，委員

中野 晋

(1) 徳島県，徳島小松島港及び橘港における機能協議会，2018年2月1日～3月31日，委員

(2) 国土交通省四国地方整備局，四国の港湾における地震・津波対策検討会議，2018年1月10日～3月31日，委員

(3) 徳島県，徳島県企業BCP委員会，2018年2月19日～3月31日，委員長

(4) 徳島県地域継続推進協議会，2018年1月25日～2019年3月31日，会長

(5) 徳島県，環境審議会，2016年8月1日～2018年7月31日，副会長

(6) 海陽町，竹ヶ島海域公園魅力化事業検討会議，2017年4月1日～2018年3月31日，委員

(7) 徳島県教育委員会，「防災教育を中心とした実践的安全教育総合推進事業」推進会，2017年7月4日～2018年2月28日，委員

(8) 徳島県教育委員会，「防災教育を中心とした実践的安全教育総合推進事業」学校防災アドバイザー，2017年8月4日～2018年2月28日

(9) 竹ヶ島海域公園自然再生協議会 専門部会，2005年9月9日～2018年3月31日，専門委員

(10) 竹ヶ島海域公園自然再生協議会，2005年9月9日～2018年3月31日，会長

(11) 公益社団法人日本港湾協会，四国広域緊急時海上輸送等検討ワーキンググループ，2017年10月14日～2018年3月31日，委員

(12) 松茂町，松茂町洪水ハザードマップ検討委員会，2017年10月10日～2018年3月31日，委員

(13) 独立行政法人国民生活センター，商品テスト有識者会議，2017年9月1日～2018年3月31日，委員

(14) 徳島県，南部防災減災対策有識者会議，2017年6月30日～2018年3月31日，委員長

(15) 徳島市，徳島市立地適正化計画策定検討会，2017年6月10日～2019年3月31日，委員

(16) 関西広域連合，関西広域防災計画策定委員会，2017年5月30日～2019年5月29日，委員

(17) 国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所，勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会，2017年5月30日～2018年3月30日，委員

(18) 国土交通省四国地方整備局，建設業BCP等審査会，2017年5月1日～2019年3月31日，委員

- (19) 国土交通省国土技術政策総合研究所，国土技術政策総合研究所研究評価委員会 第三分科会，2017年4月1日～2019年3月31日，委員
- (20) 国土交通省四国地方整備局，吉野川学識者会議，2017年4月1日～2019年3月31日，委員長
- (21) 徳島県，洋上風力発電設備導入可能性検討委員会，2017年3月3日～12月31日，委員
- (22) 西日本高速道路株式会社四国支社，四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会，2017年4月1日～2018年3月31日，委員及び環境部会部会長
- (23) 徳島県，徳島県国土利用計画審議会，2016年12月20日～2019年12月19日，委員
- (24) 徳島県，徳島県災害時快適トイレ計画策定委員会，2016年11月1日～2017年10月31日，委員
- (25) 徳島県，徳島県中央構造線・活断層地震に係る被害想定検討委員会，2016年8月1日～2018年7月31日，委員長
- (26) 徳島県，徳島県建設業BCP審査会，2015年7月1日～2018年6月30日，委員長
- (27) 一般社団法人日本建設機械施工協会四国支部，2016年5月11日～2018年5月31日，運営委員
- (28) 特定非営利活動法人災害・危機対応支援センター，2016年3月22日～，理事
- (29) 特定非営利活動法人事業継続推進機構，顧問
- (30) 徳島県，マリニピア沖洲環境調査検討委員会，2016年2月1日～2018年1月31日，委員

湯浅 恭史

- (1) 徳島市，徳島市業務継続計画策定に係るアドバイザー，2017年6月～2018年3月
- (2) 徳島市，徳島市業務継続計画策定業務に係る委託業者選定者，2017年5月～6月
- (3) 四国地方整備局，四国建設業BCP等審査委員会部会員，2017年5月～2019年3月
- (4) 徳島県，徳島県漁業版事業継続計画推進協議会，2017年3月～12月，委員
- (5) 徳島県，大規模災害時における徳島小松島港及び橘港の協議会，2018年3月，アドバイザー
- (6) 徳島県，徳島県企業BCP委員会，2018年2月～3月，オブザーバー
- (7) 徳島県，徳島県建設業BCP審査会，2015年7月～2018年6月，委員

金井 純子

- (1) 徳島県危機管理部防災人材育成センター，平成29年度徳島県避難所開設・運営訓練業務委託業者選考委員会，2017年5月，委員
- (2) 徳島県危機管理部防災人材育成センター，「地域連携・快適避難所運営モデル事業」選定委員会，2017年8月，委員
- (3) 徳島県防災会議，2017年5月～2018年3月，委員
- (4) 徳島県西部県民局，「平成29年度にし阿波・福祉避難所運営訓練業務」業務委託業者選考委員会，2017年11月，委員

4. 2 講師派遣（講演会等名称，講演題目，実施日，実施場所，主催機関，対象，参加者数 など）

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) Baba, T., Accurate tsunami simulations solving the shallow water equations with effects of Boussinesq dispersion, elastic loading and sea water density stratification, Tsunami in the Atlantic and the English Channel: Definition of the effects through numerical modelling (TANDEM) Workshop, Tokyo, 2017年10月4日
- (2) 津波被害軽減のためのグローバル津波予測（招待講演），第21回AEコンファレンス，2017年11月29日
- (3) 南海トラフの地震と津波，まなびの森講演会，2017年9月2日
- (4) 南海トラフ地震による津波と対策，九州中国四国地域防災研究会，2017年9月20日
- (5) 東日本大震災と南海トラフ巨大地震，治山林協会講演会，2017年10月20日
- (6) 南海トラフ大地震最前線，徳島ロータリークラブ，2017年11月29日
- (7) 南海トラフ地震に伴う津波の予測，平成29年度野島断層普及講演会，2018年1月14日

村田 明広

- (1) 県・大学連携による教職員研修，ジオパークと地学教育，2017年7月28日，徳島大学理工学部，徳島県立総合教育センター
- (2) 教員免許状更新講習，四国の地震防災，徳島大学理工学部，2017年7月29日
- (3) 阿波高校体験講座，熊本地震を引き起こした布田川-日奈久断層帯，2017年8月10日，徳島大学教養教育院，20名
- (4) 地質学会巡検，黒瀬川構造帯の模式地と四国西部の秩父帯を巡る，2017年9月19日，24名
- (5) 城南高校スーパーサイエンスハイスクール，活断層と地震，2017年11月15日，城南高校，40名
- (6) 徳島市立高校体験授業，活断層と地震，2017年11月17日，25名
- (7) 地学オリンピック講習会，岩石・地質構造の観察，2017年11月19日，8名
- (8) 城南高校スーパーサイエンスハイスクール，野島断層現地観察会，野島断層保存館，2017年11月22日，40名
- (9) 鳴教大ジュニアドクター講義，岩石を厚さ0.03mmの薄片で観察する，徳島大学理工学部，2018年2月24日，37名

西山 賢一

- (1) 防災講演会，気象情報を活用して身を守る，2017年11月，徳島県立穴吹高等学校，6名
- (2) 防災講演会，防災情報を活用して身を守る，2017年12月，徳島県立徳島商業高等学校，約750名
- (3) 2017年度徳島県新規採用職員「地域資産体感実習」現地見学案内・解説，防災まちづくりー南海トラフ巨大地震を迎え撃つ，2017年4月，約100名

- (4) 教員 10 年経験者研修（県大学連携），「徳島の自然環境と災害」徳島県立総合教育センター，2017 年 7 月，徳島大学総合科学部，約 15 名。
- (5) 徳島県砂防ボランティア協会講演会，2016 年熊本地震で発生した土砂災害から学ぶ，2017 年 3 月，約 40 名
- (6) 徳島県宅地建物取引業協会徳島北支部・防災講演会，熊本地震の被害から学ぶ，2017 年 6 月，約 40 名

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) 遺体検案研修会，死亡診断・死体検案書の書き方 ー日常と災害時ー ほか
2018 年 3 月 21 日 10:00~16:30，徳島県医師会館，徳島県医師会，対象：徳島県医師会・徳島県歯科医師会・徳島県警
- (2) NTT 防災士育成研修，災害医療
2017 年 5 月 12 日，福岡，8 月 4 日，東京，12 月 15 日，東京，
NTT ラーニングシステムズ主催，NTT 関連会社社員，各日約 100 人
- (3) 防災士研修講座，災害医療
防災士研修センター主催
2017 年 6 月 11 日，大阪，学生・自治体職員・インフラ・運送関係・他企業防災担当者等，
約 120 人
2017 年 8 月 2 日，徳島，徳島県内高校生，約 140 人
2017 年 7 月 15 日，高松，自治体推薦者・学生・銀行・運送業・他企業防災担当者等，
約 100 人
2017 年 7 月 30 日，岐阜，岐阜市推薦者，約 50 人
2017 年 8 月 5 日，大阪，学生・自治体職員・自治会・食品会社・道路関係・他企業防災担当者等，約 120 人
2017 年 8 月 17 日，徳島，徳島県内高校生，約 155 人
2017 年 8 月 19 日，倉敷，自治体推薦者，約 60 人
2017 年 9 月 10 日，赤磐，自治体推薦者，約 60 人
2017 年 9 月 10 日，吉野，自治体推薦者・職員・百貨店・他企業防災担当者等，約 50 人
2017 年 9 月 16 日，神戸，自治体推薦者，約 90 人
2017 年 10 月 29 日，大阪，郵便局長・学生・道路建設・施設運営関係，マンション管理関係，他企業防災担当者等，約 150 人
2017 年 11 月 26 日，笠岡，自治体推薦者・学生・他企業防災担当者等，約 90 人
- (4) 防災リーダー養成講座，災害を知る「医学と災害」，2017 年 6 月 21 日，徳島大学，学生・一般，168 名
- (5) 徳島県新任職員研修講習，医学と災害，2017 年 8 月 16 日，徳島県自治研修センター，県職員等，142 名

内海 千種

- (1) 徳島市教育委員会いじめ問題等対策チーム会議全体会，学校危機後の対応について～心理的支援を中心に，2017年5月22日，徳島市役所
- (2) 徳島大学総合科学部公開セミナー，知っていますか，こころの変化～南海地震が起こったら～，2017年6月30日，徳島大学総合科学部
- (3) 被災時にみられる心理的反応と支援の基本 ～PFAを理解するために～，2017年9月13日，徳島市ふれあい健康館，日本労働組合総連合会徳島県連合会
- (4) 災害時に起こる心理的変化と支援の基本，2017年10月24日，徳島県立板野高等学校
- (5) 発達障がい児の災害時支援について，2017年10月27日，徳島県南部総合県民局保健福祉環境部
- (6) 災害時に起こる心理的変化と支援の基本，2017年12月19日，徳島県発達障がい者総合支援センター ハナミズキ，発達障がい児支援専門員養成研修フォローアップ講座
- (7) 災害時のメンタルヘルスに関する基礎知識-発達障がいのある人の支援のために，2017年12月19日，徳島県立みなと高等学園，人権教育研究会
- (8) 災害支援者のメンタルヘルス～自身の心身の変化に気づくために，2018年1月9日，徳島県庁，徳島県経営戦略部職員厚生課

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 第4回勝浦川流域フィールド講座，山・川・海・人のつながり—講座説明，2017年4月29日，県民活動プラザ，徳島県・とくしま生物多様性センター・NPO 徳島保全生物学研究会・生物多様性とくしま会議，一般，40名
- (2) とくしま生物多様性活動推進フォーラム「生物多様性・生態系の保全と企業価値-SDGs・ESG投資・グリーンインフラ」，まとめと展望，2017年12月11日，とくぎんトモニプラザ3階大会議室，NPO 徳島保全生物学研究会，一般，100名
- (3) 日本クマネットワークシンポジウム「四国のツキノワグマ知っとん？剣山系のツキノワグマ保全にむけて」，コメント：剣山系のツキノワグマ保全を効果的に進めるための提案，2018年1月28日，徳島大学工業会館，日本クマネットワーク，一般，100名
- (4) 生物多様性の保全に関する研究会公開シンポジウム「生物多様性を活かした地域づくり—地域づくりに活かすための生物多様性地域戦略」，地域づくりに活かすための生物多様性地域戦略，2018年2月7日，東京ウィメンズプラザ（東京），（公財）東京市町村自治調査会，自治体職員及び一般，60名
- (5) ワークショップ「日本のアグロエコロジー，トランジッション2018」，Satoyama landscape of Japan-past, present and future，2018年2月12日，龍谷大学大宮キャンパス（京都市），日本有機農業学会・龍谷大学経済学部・総合地球環境学研究所，研究者及び一般，50名
- (6) 「震災×未来ダイアログカフェ」，海岸マツ林を守り活用してゆくための仕組み，2018年3月17日，鴨々堂（札幌），北の里浜花のかけはしネットワーク，一般，20名

上月 康則

- (1) 高知大学, 高知大学農林海洋学部, 2017年4月1日～9月30日, 非常勤講師
- (2) 愛媛県, 平成29年愛媛県防災士養成講座, 2017年8月1日～2018年2月3日, 講師
- (3) 神戸大学, 神戸大学客員教授, 2017年4月1日～2018年3月31日
- (4) 神戸大学, 神戸大学海事科学部, 2017年4月1日～2018年3月31日, 非常勤講師
- (5) 愛媛大学, 愛媛大学工学部, 2017年9月26～30日, 非常勤講師
- (6) ニロックフェスティバル, ニ崎運河開門脱出ゲーム, 2017年4月29日, ニ崎市, 兵庫県, 市民, 100名
- (7) 環境学習, ブルーカーボンについて, 2017年6月28日, 釜石市, (一社) ユナイテッドグリーン, 市民, 15名
- (8) 環境学習, 吉野川の恵みと災いについて, 2017年8月10日, 徳島大学, 徳島県, 阿波高校生徒, 40名
- (9) 環境学習, 「なぜ高砂あらい浜風公園で干潟づくりをしているのか?」, 2017年10月11日, 高砂南高校, 兵庫県, 高砂南高校生徒, 40名
- (10) 環境学習, 吉野川河口干潟の環境と私たちの生活, 2017年11月17日, 徳島市立高校, 徳島市, 徳島市立高校生徒, 25名
- (11) ニ海フォーラム, 2018年3月11日, ニ崎図書館, ニ海の会, 市民, 50名

近藤 光男

- (1) 阿南市環境保全推進講演会, 地球温暖化の防止と脱炭素社会の実現に向けて, 2018年2月28日, 阿南市役所, 阿南市, 市民, 100名

浜野 龍夫

- (1) 平成29年度鳥取県内水面漁業振興講演会, 水辺の生きものにやさしい環境づくり～水辺の小さな自然再生～, 2017年9月4日, とりぎん文化会館第2会議室, 鳥取県農林水産部水産振興局水産課・(公財)鳥取県魚の豊かな川づくり基金, 内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO, 100名
- (2) 日本水産資源保護協会巡回教室, 川と地域を元気づける「水辺の小わざ」, 2017年9月20日, 静岡県男女共同参画センター, 静岡県内水面漁業協同組合連合会・日本水産資源保護協会, 内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO, 100名
- (3) 第6回「小さな自然再生」現地研修会 福井・日野川/志津川, 川と地域を元気にする「水辺の小わざ」, 2017年10月17日, 福井県教育センター・日野川/志津川, 主催:「小さな自然再生」研究会, 共催:国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所・福井県・日本河川・流域再生ネットワーク, 内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO, 70名
- (4) 新潟県能代川が鮭と蛍が舞い踊る川であるためのワークショップ, 川と地域を元気にする「水辺の小わざ」, 2017年10月25日, 新潟市秋葉区文化会館, 新潟地域振興局新津地域整備部, 内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO, 100名

- (5) 日本水産資源保護協会巡回教室，福岡県内水面漁業の振興について―現場から考える―，2017年11月27日，朝倉地域生涯学習センター，福岡県内水面漁業協同組合連合会・福岡県，内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO，60名
- (6) 第7回「小さな自然再生」現地研修会，安価に川をつなぐときの注意点，2017年12月7日，西栗倉村森の学校，「小さな自然再生」研究会，50名
- (7) 兵庫県浜坂高校 特別講義，魚道を作ろう，2017年12月13日，兵庫県立浜坂高校，浜坂高校・豊岡土地改良センター・岸田川漁協，高校生・内水面漁業関係者，30名
- (8) ビワマスフォーラム2017in野洲，滋賀県でビワマスを呼び戻す取り組みをさらに広げていくためには？，2017年12月9日，家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト・野洲市・滋賀県，内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO，70名
- (9) 兵庫県香住高校 特別講義，川の魚と魚道，2018年1月22日，兵庫県香住高校，香住高校・豊岡土地改良センター・岸田川漁協，高校生・内水面漁業関係者，30名
- (10) 神奈川県内水面漁連漁場監視員・役職員研修会，地域を元気にする魚道改修―相模川水系プランの紹介，2018年1月29日，神奈川県内広域水道企業団社家取水管理事務所大会議室，神奈川県・神奈川県内水面漁業協同組合，内水面漁業関係者・河川管理者・河川関連NPO，100名

山中 亮一

- (1) 高知大学，高知大学農林海洋科学部，2017年4月～2018年3月，非常勤講師
- (2) 尼崎市立尼崎高校における模擬講義，2017年12月14日，尼崎市立尼崎高校，約40名

西田 貴明

- (1) みなと総研港友研究会第36回講演会，グリーンインフラ（生態系を活用した社会資本整備），2017年4月25日，東京都港区，みなと総合研究財団，港友会会員，50名
- (2) 西田貴明・沼田壮人，日本造園学会平成29年度全国大会 ミニフォーラム 基礎自治体における生物多様性保全政策の推進に向けた「都市の生物多様性指標」の活用可能性について，都市の生物多様性指標から見る地方自治体の自然環境と保全活動の全国傾向，2017年5月21日，神奈川県藤沢市，日本造園学会，学会員，100名
- (3) 第20回ふなばし環境フェア 生物多様性シンポジウム，生物多様性とビジネス，2017年6月11日，千葉県船橋市，船橋市環境フェア実行委員会，市民，100名
- (4) 第107回コロキウム環境，グリーンインフラの潮流，2017年6月26日，宮城県仙台市，東北大学環境科学研究科
- (5) 麻機遊水地の利活用を考える市民フォーラム（地域住民対象の部及び県市民対象の部），利活用シナリオと生態系サービスのバランス，2017年7月1日，静岡市葵区，東邦大学，遊水地周辺地区住民：50名，県・市：100名
- (6) 日本学術会議公開シンポジウム「生態系インフラストラクチャーを社会実装する」，社会実装の壁は何か，2017年7月17日，東京都港区，日本学術会議統合生物学委員会・環境学委員会合同自然環境保全再生分科会，一般，300名

- (7) 東京農業大学リカレントスクール 造園・2017 グリーンインフラから発想する緑と水のまち、グリーンインフラとは何か、2017年9月21日、東京都世田谷区、東京農業大学緑友会、緑友会会員、200名
- (8) ELR2017 公開シンポジウム：自然の仕組みを暮らしに賢く活かすーグリーンインフラへの招待、グリーンインフラ推進に向けた官民連携、2017年9月24日、名古屋市千種区、ELR2017実行委員会（日本景観生態学会・日本緑化工学会・応用生態工学会）、学会員、200名
- (9) 全国まちづくり会議 2017in 横浜、グリーンインフラをまちづくりで活用する、2017年10月7日、横浜市金沢区、認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会、協会員、20名
- (10) 環境アセスメント学会 2017年度第1回サロン会、グリーンインフラの導入、2017年11月15日、東京都千代田区、環境アセスメント学会、学会員、20名
- (11) とくしま生物多様性活動推進フォーラム、グリーンインフラー世界の動き・日本の動き、2017年12月11日、徳島県徳島市、徳島保全生物学研究会、一般市民、100名
- (12) グリーンインフラを活用したまちづくりシンポジウム、グリーンインフラの概念形成と今後に期待される計画や取組、2018年1月10日、名古屋市中区、愛知県、市町村担当者、100名
- (13) フォーラム 大都市近郊での街と里のつながりを考える、生物多様性保全のための街と里のつながり、2018年1月13日、大阪府能勢町、大阪府、一般市民、350名
- (14) 平成29年度東北支部環境専門委員会セミナー、グリーンインフラの地域振興への期待、2018年1月18日、宮城県仙台市、建設コンサルタンツ協会、建設コンサルタント・国土交通省、100名
- (15) S-14 セミナー 経済学・生態学をつなぐ自然資本：社会実装には何が必要か？、自然資本を活用した地域づくり、事業開発、2018年1月25日、横浜市保土ヶ谷区、横浜国立大学、一般、学生他、100名
- (16) JSURP グリーンインフラ研究会公開セッション「日本的（グリーン）インフラの概念を再構築する」、2018年1月26日、東京都千代田区、国連生物多様性10年市民ネットワーク、認定NPO 法人日本都市計画家協会、都市プランナー等、30名
- (17) 遠香尚史・池田正・西田貴明、公開シンポジウム：自然を活かして防災する～災害と恵みのかかわり～、麻機遊水地における利活用シナリオと合意形成、2018年2月10日、福井県若狭町、環境省環境研究総合推進費研究グループ、総合地球環境学研究所研究グループ、一般、30名
- (18) 日本技術士会環境部会講演会、グリーンインフラとは何か、2018年2月22日、東京都港区、日本技術士会、実務家、50名
- (19) ～国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）地域フォーラム in 大阪～、連携・協働から広がる自然を活かしたまちづくり、2018年2月25日、実施場所、国連生物多様性の10年日本委員会、環境省、大阪府、大阪市、一般市民他、100名
- (20) 平成29年度農林水産分野の生物多様性連携シンポジウム、自然資本から広がるSDGsに対する農山漁村の貢献可能性ー生産者と消費者をつなぐー、2018年2月28日、東京都千代田区、農林水産省、生産者、企業担当者他、200名

- (21) 龍谷大学里山学研究センターシンポジウム 里山学から考える防災・減災, Eco-DRR(生態系を活用した防災・減災)という考え方と国内外の動向, 2018年3月3日, 滋賀県大津市, 龍谷大学, 一般市民, 100名
- (22) 日本生態学会第63回全国大会シンポジウム, 2030年における生物多様性政策の未来像, 2018年3月18日, 宮城県仙台市, 日本生態学会, 学会員他, 150名

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 平成29年度土木技術・業務発表会, 徳島東部都市計画区域マスタープラン(素案)の評価と課題, 2017年10月31日, 徳島県職員会館, 徳島県県土整備部, 徳島県職員, 50名

中野 晋

- (1) 平成29年度第1回鳴門市自主防災会連絡協議会, 避難所の課題~熊本地震に学ぶ~, 2017年5月23日, 鳴門うずしお会館会議室, 60名
- (2) 大災害時にも大切なわが子と家族を守るために, 2017年6月3日, 光花保育園, 100名
- (3) 徳島市学童保育職員研修会, 児童の命を守るための地震・津波への備え方, 2017年6月13日, 津田みどり第一学童クラブ, 45名
- (4) 避難ルートの危険場所を探そう, 2017年6月25日, 名東町桃の実学童クラブ, 40名
- (5) 平成29年度徳島県地域防災推進員養成講座, 防災士とは, 2017年7月8日, 共通講義棟, 128名
- (6) 愛媛県防災安全統括部, 防災士養成講座, 2017年7月10日~2018年2月3日, 講師
- (7) 想定外の浸水災害に備える, 2017年7月14日, 徳島県立那賀高等学校, 240名
- (8) 平成29年度徳島県地域防災推進員養成講座, 災害図上訓練, 2017年7月15日, 西部総合県民局, 128名
- (9) 平成29年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 2017年7月18日, 愛媛県庁第1別館, 愛媛県職員対象, 100名
- (10) 平成29年度徳島県地域防災推進員養成講座, 南海トラフ地震への備え, 2017年7月29日, 創成学習スタジオ, 117名
- (11) 平成29年度徳島県職員講習会, 防災士とは, 2017年8月2日, 自治研修センター, 142名
- (12) 平成29年度徳島県職員講習会, 災害図上訓練, 2017年8月4日, 自治研修センター, 142名
- (13) 平成29年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 2017年8月5日, 愛媛県南予地方局八幡浜支局, 100名
- (14) 平成29年度徳島県職員講習会, 南海トラフ地震への備え, 2017年8月18日, 自治研修センター, 142名
- (15) 教員免許状更新講習, 自然災害と学校安全管理, 2017年8月27日, 徳島大学共通教育4号館, 6名
- (16) NPO法人アプローチフォーライフセーバー, 南海大地震・災害への備えは大丈夫ですか?2017年9月1日, あわぎんホール小ホール, 80名.

- (17) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(阿波市・吉野川市), 大災害時の学校再開方法について考えよう, 2017 年 9 月 6 日, 阿波市役所, 32 名
- (18) 中野 晋, 西山 賢一, 金井 純子, 田村 隆雄, 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(阿波市・吉野川市), グループ協議アドバイザー「大規模災害時の避難所運営支援と学校再開について」, 2017 年 9 月 6 日, 阿波市役所, 32 名
- (19) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(美馬市・つるぎ町), 大災害時の学校再開方法について考えよう, 2017 年 9 月 8 日, 徳島県西部総合県民局, 20 名
- (20) 中野 晋, 西山 賢一, 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(美馬市・つるぎ町), グループ協議アドバイザー「大規模災害時の避難所運営支援と学校再開について」, 2017 年 9 月 8 日, 徳島県西部総合県民局, 20 名
- (21) 災害動物医療研究会, 四国における広域災害, 2017 年 9 月 9 日, 高松センタービル 大ホール, 80 名
- (22) 第 64 回日本栄養改善学会学術総会市民公開講座, 自らをまもる備え・今すぐできる準備, 2017 年 9 月 15 日, アスティとくしま大ホール, 150 名.
- (23) 徳島大学常三島キャンパス避難所研修会, 避難所の課題, 2017 年 10 月 1 日, 創成学習スタジオ, 80 名
- (24) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 2017 年 10 月 14 日, 愛媛県南予地方局, 120 名
- (25) 徳島県公立学校事務長会, 学校防災と大規模災害時の避難所運営の協力について, 2017 年 11 月 7 日, 徳島県職員会館, 40 名.
- (26) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(勝浦町・上勝町), 大災害時の学校再開方法について考えよう, 2017 年 11 月 13 日, 勝浦町立図書館, 5 名
- (27) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(勝浦町・上勝町), グループ協議アドバイザー「大規模災害時の避難所運営支援と学校再開について」, 2017 年 11 月 13 日, 勝浦町立図書館, 5 名
- (28) 阿南市幼小中学校合同防災研究会, 風水害時の避難対策と学校再開計画について, 2017 年 11 月 20 日, 阿南市文化会館研修室, 65 名
- (29) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 2017 年 11 月 21 日, エスポワール愛媛文教会館, 144 名
- (30) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 2017 年 11 月 25 日, 四国中央市消防防災センター, 52 名
- (31) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(三好市・東みよし町), 大災害時の学校再開方法について考えよう, 2017 年 11 月 27 日, 三好市教育センター, 27 名.
- (32) 中野 晋, 田村 隆雄, 金井 純子, 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(三好市・東みよし町), グループ協議アドバイザー「大規模災害時の避難所運営支援と学校再開について」, 2017 年 11 月 27 日, 三好市教育センター, 27 名.
- (33) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(那賀町), 大災害時の学校再開方法について考えよう, 2017 年 12 月 1 日, 那賀町地域交流センター, 8 名.

- (34) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(那賀町), グループ協議アドバイザー「大規模災害時の避難所運営支援と学校再開について」, 2017 年 12 月 1 日, 那賀町地域交流センター, 8 名.
- (35) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 2017 年 12 月 2 日, 新居浜市消防本部コミュニティ防災センター, 64 名.
- (36) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 今治市消防防災センター, 2017 年 12 月 9 日, 98 名.
- (37) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(石井町・神山町), グループ協議アドバイザー「大規模災害時の避難所運営支援と学校再開について」, 石井町役場, 2017 年 12 月 14 日, 14 名.
- (38) 平成 29 年度「学校防災に関する研修会」(石井町・神山町), 大災害時の学校再開方法について考えよう, 石井町役場, 2017 年 12 月 14 日, 14 名.
- (39) 事前復興シンポジウム, ディスカッション「巨大災害を迎え撃つ地域イノベーションの創出」ファシリテーター, 2017 年 12 月 20 日, 徳島グランヴィリオホテル, 150 名
- (40) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 愛媛県西条地方局, 2018 年 1 月 6 日, 100 名.
- (41) 徳島市社会福祉協議会, 平成 29 年度災害ボランティアセンター設置模擬訓練「東南海・南海地震に備えて」, 徳島市ふれあい健康館, 2018 年 1 月 8 日, 80 名.
- (42) 南小松島学童保育クラブ, 防災対策指導, 2018 年 1 月 11 日, 3 名
- (43) 高川原なかよしクラブ, 防災対策指導, 2018 年 1 月 11 日, 3 名.
- (44) さぬき市防災士養成講座, 地震のしくみと被害, さぬき市役所, 2018 年 1 月 13 日, 50 名
- (45) さぬき市防災士養成講座, 津波のしくみと被害, さぬき市役所, 2018 年 1 月 13 日, 50 名
- (46) 知恵島児童クラブ, 防災対策指導, 2018 年 1 月 19 日, 2 名.
- (47) 川内北学童保育スマイルクラブ/川内北学童保育ドリームクラブ, 防災対策指導, 2018 年 1 月 23 日, 5 名.
- (48) 今津児童クラブ, 防災対策指導, 2018 年 1 月 27 日, 3 名.
- (49) 大津西児童クラブ, 防災対策指導, 2018 年 2 月 2 日, 4 名
- (50) 平成 29 年度愛媛県防災士養成講座, 危機管理の基本, 松山市保健所・消防合同庁舎, 2018 年 2 月 3 日, 55 名
- (51) 宝田児童クラブ, 防災対策指導, 2018 年 2 月 5 日, 3 名
- (52) 富岡児童クラブ, 防災対策指導, 2018 年 2 月 5 日, 4 名
- (53) 中野 晋, 湯浅 恭史, 自治体 BCP 策定研修会(県央部), 徳島県庁, 2018 年 2 月 14 日, 9 名
- (54) 愛媛県 JA 防災講習会, 地震のしくみと被害, 愛媛県勤労会館, 2018 年 2 月 17 日, 80 名
- (55) 愛媛県 JA 防災講習会, 津波のしくみと被害, 愛媛県勤労会館, 2018 年 2 月 17 日, 80 名
- (56) 中野 晋, 湯浅恭史, 自治体 BCP 策定研修会(県南部), 阿南市役所, 2018 年 2 月 21 日, 8 名
- (57) 中野 晋, 湯浅 恭史, 自治体 BCP 策定研修会(県北部), 鳴門市役所, 2018 年 2 月 26 日, 9 名
- (58) 安芸市どいっ子学童クラブ, 防災対策指導, 2018 年 2 月 27 日, 5 名.

- (59) 南国市なかよし学童クラブ，防災対策指導，2018年2月27日，8名
- (60) 香美市もんべえクラブ，防災対策指導，2018年2月27日，3名.
- (61) 中野 晋，湯浅 恭史，自治体BCP策定研修会(県西部)，阿波市役所，2018年3月1日，8名.
- (62) 日本地震工学会，シンポジウム「南海トラフ巨大地震の広域被災に備える減災活動の現状と将来」，南海トラフ地震に向けた四国地域の取り組み，2018年3月19日，建築会館ホール
- (63) 5 star 英語学童クラブ，防災クイズ&液状化実験，2018年3月28日，小1～4年，25名
- (64) 四国4県・5大学連携防災・減災シンポジウム，徳島大学の取り組み，2018年3月29日，香川大学幸町キャンパス

上月 康則

- (1) 防災学習，安全に逃げる，2017年5月13日，沖洲学童，沖洲児童，25名
- (2) 防災学習，イチバンタイセツナコト，2017年6月16日，板野小学校，板野町，小学生児童，40名
- (3) 防災士養成講座，ライフライン，2017年7月9日，徳島県南部総合県民局美波庁舎，徳島県，市民，150名
- (4) 防災士養成講座，ライフライン，2017年8月3日，徳島県自治研修センター，徳島県，市民，150名
- (5) 防災士養成講座，危機管理の基本，2017年10月21日，松山市松前町総合文化会館，愛媛県，市民，100名
- (6) 防災士養成講座，危機管理の基本，2017年11月11日，砥部町中央公民館，愛媛県，市民，100名

島 一樹

- (1) 災害を考える～東日本大震災の経験を踏まえて～，2017年9月8日，渋野小学校，5年生，44名

湯浅 恭史

- (1) 災害対応訓練，2017年4月17日，株式会社亀井組，16名
- (2) 徳島県病院BCP研修会，災害対応演習（医療機関編），2017年6月30日，海部病院，41名
- (3) 協同組合ウイングバレイ安全大会，平成28年熊本地震から学ぶビジネス継続，2017年7月5日，80名
- (4) 災害対応演習，2017年8月1日，吉野川市立川島中学校，30名
- (5) 徳島市立内町小学校地震・津波対応避難訓練，2017年9月6日，徳島市立内町小学校，25名
- (6) 徳島市職員研修会，災害に強くなる7つの方法，2017年9月6日，80名
- (7) BCP初動セミナー，2017年9月11日，高知商工会議所，60名

- (8) 建設業BCP研修会①, 2017年9月22日, 徳島県解体工事業協会, 6名
- (9) 徳島県建設業BCPフォローアップ研修会, 鳥取県中部地震での建設業対応, 2017年9月29日, 徳島県職員会館, 80名
- (10) 自然災害のリスクマネジメント講座, BCPシナリオによる初動フェーズ図上訓練, 2017年10月5日, 徳島県自治研修センター, 32名
- (11) 建設業BCP研修会②, 2017年10月13日, 徳島県解体工事業協会, 6名
- (12) 徳島ビジネスチャレンジメッセ, 被害想定はでそろった! さあリスクを迎え撃つ活きた「企業BCP」に取り組もう!, 2017年10月14日, アスティとくしま, 50名
- (13) 災害対応模擬演習, 2017年10月18日, 滋賀県危機管理センター, 18名
- (14) 建設業BCP研修会③, 2017年10月27日, 徳島県解体工事業協会, 6名
- (15) 松茂町立長原小学校避難訓練, 津波避難を考える～発災から避難場所まで～, 2017年11月5日, 松茂町立防災センター, 60名
- (16) もし南海トラフ巨大地震が起こったら, 2017年11月17日, 社会福祉法人愛育会, 40名
- (17) BCAO 事業継続推進セミナー, 実効性のあるBCPへの改定の仕方, 見直し手法, 2017年12月8日, 大阪大学中之島センター, 86名
- (18) 災害時アクションカード講習会, 2018年1月17日, 那賀町商工会, 20名
- (19) 災害対応模擬演習, 2018年3月7日, 徳島市民病院, 70名
- (20) 漁業版BCP研修会, 2018年3月8日, 徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究所, 10名

金井 純子

- (1) 阿波市防災士会5月定例会, 災害時のトイレ, 2017年5月20日, 阿波市役所, 阿波市防災士会, 会員, 15名
- (2) 第1回徳島県災害時リハビリテーション圏域リーダー会議, オブザーバー, 2017年5月25日, 徳島大学病院, 当該委員, 24名
- (3) 徳島県災害時介護福祉コーディネーター委嘱式, 熊本地震から見る要援護者対策について, 2017年6月1日, 徳島県庁, 徳島県保健福祉部保健福祉課, 介護福祉コーディネーター, 80名
- (4) 山口県歯科衛生士会災害支援活動研修会, PFA(心理的応急処置)研修会, 2017年7月2日, 山口県健康づくりセンター, 一般社団法人山口県歯科衛生士会, 歯科衛生士, 20名
- (5) 平成29年度「安心広がる」防災力アップ研修会, 災害時の対応と福祉避難所について, 2017年9月1日, 徳島保健所, 徳島県精神保健福祉士協会, 精神障がい者等, 80名
- (6) 学校防災に関する研修会, 2017年9月6日, 阿波市役所, 徳島県教育委員会体育学校安全課, 阿波市・吉野川市の各小中学校教員, 32名
- (7) 第2回避難所開設運営訓練, 2017年9月11日, 徳島県立障がい者交流プラザ, 徳島県社会福祉事業団, 交流プラザ指定管理者の職員等, 20名
- (8) 阿波地区民生委員児童委員協議会9月定例会, 避難所運営ゲーム, 2017年9月12日, 阿波健康福祉センター, 阿波地区民生委員児童委員協議会, 阿波地区民生児童委員, 30名

- (9) 第3回避難所開設運営訓練, 2017年9月25日, 徳島県立障がい者交流プラザ, 徳島県社会福祉事業団, 自治会役員・交流プラザ指定管理者の職員等, 30名
- (10) 平成29年度身体障害者相談員等研修会(西部圏域), 障がい者のための防災対策について, 2017年10月19日, 障がい者支援施設すみれ園, 徳島県身体障害者連合会, 身体障害者相談員, 70名
- (11) 平成29年度身体障害者相談員等研修会(東部・南部圏域), 障がい者のための防災対策について, 2017年11月9日, 徳島県立障がい者交流プラザ, 徳島県身体障害者連合会, 身体障害者相談員, 100名
- (12) 第6回手をつなぐ育成会中国・四国大会徳島大会, 2017年11月12日, 徳島グランヴィリオホテル, 手をつなぐ育成会会員, 200名
- (13) 学校防災に関する研修会, 2017年11月27日, 三好教育センター, 徳島県教育委員会体育学校安全課, 三好市・東みよし町の各小中学校教員, 27名
- (14) 平成29年度香川大学危機管理シンポジウム, 徳島県における防災教育の現状と課題, 2017年12月4日, サンポートホール高松, 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構, 一般, 100名
- (15) 平成29年度城北高等学校「第1学年P-time 成果発表会」(防災分野)(徳島県立城北高等学校), 2017年12月14日, 城北高校, 城北高校, 1年生, 30名
- (16) 災害と健康管理・メンタルヘルスケア「PFA研修」, PFA(心理的応急処置)研修会, 平成29年12月16日, 香川大学医学部, 香川大学大学院医学系, 四国防災・危機管理プログラムの大学院生・科目等履修生, 16名
- (17) 鴨島小学校 防災出前授業, 2017年12月5日・12日, 2018年1月16日・19日・25日(計5回), 吉野川市立鴨島小学校, 小学6年生, 72名
- (18) 川田中小学校 防災出前授業, 2018年1月18日・23日, 2018年2月8日・15日(計4回) 吉野川市立川田中小学校, 小学4年生, 10名
- (19) 地域防災リーダー養成講座, 女性の視点を取り入れた避難所運営のあり方について, 2018年1月21日, 勝浦町住民福祉センター, 自主防災組織・婦人会, 40名
- (20) 第4回避難所開設運営訓練, 2018年2月5日, 徳島県立障がい者交流プラザ, 徳島県社会福祉事業団, 自治会役員・交流プラザ指定管理者の職員等, 30名

4.3 支援・協働(支援・協働の対象, 実施日, 実施場所, 依頼機関 など)

<防災研究部門>

山本 真由美

- (1) すこやか子育て相談会子育て支援

幼稚園・保育所・認定こども園の教諭・保育士, 2017年9月5~7日, 福島県白河市, 福島県白河市

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 徳島県における生物多様性の主流化支援（生物多様性とくしま会議の共同代表として会の運営を支援），毎月第2水曜日，徳島大学，生物多様性とくしま会議
- (2) 徳島県における生物多様性の主流化支援（とくしま生物多様性活動推進協議会の会長として会の運営を支援），2017年5月10日，6月21日，6月28日，8月1日，10月6日，11月9日，徳島大学，とくしま生物多様性活動推進協議会

上月 康則

- (1) 上月康則，渡辺雅子，社会産業理工学研究交流会，2017年8月30日，徳島大学，UAVを活用した希少種ルイスハンミョウの生息環境調査と保全の取り組み
- (2) 上月康則，山中亮一，ひょうご環境担い手サミット，2017年12月27日，デザインクリエイティブセンター神戸，兵庫県，魅力あるまちづくりのための海辺・干潟創出～協働と協同～
- (3) 尼海の会，2017年4月16日，ワカメの刈り取りと堆肥化，2017年7月29日，ムラサキイガイの剥ぎ取りと堆肥化，2017年12月24日，ワカメの種糸の設置，2018年1月28日，和歌浦産ワカメの設置，2018年2月24日，ワカメの生育調査と観察会，2018年3月11日，ワカメの刈り取りと堆肥化，尼崎港とのびのび公園

浜野 龍夫

- (1) 徳島県川口ダム下に滞留するアユの汲み上げ放流，那賀川内水面漁業関係者，2017年5月29日，川口ダム，徳島県企業局，河口洋一准教授と参加した
- (2) 水辺の小わざ魚道施工指導，山形県置賜総合支庁建設部河川課及び関係者，2017年11月7日，山形県米沢市大樽川，山形県置賜総合支庁建設部河川課，後に予定されている山形県立米沢工業高校及び置賜農業高校生徒らによる体験施工方法を指導
- (3) 水辺の小わざ魚道施工指導，矢田川漁業協同組合・兵庫県豊岡土地改良センター，2017年12月12日，兵庫県香美町矢田川，矢田川漁業協同組合・兵庫県豊岡土地改良センター
- (4) 水辺の小わざ魚道施工指導，浜坂高校・岸田川漁業協同組合・兵庫県豊岡土地改良センター，2017年12月13日，兵庫県新温泉町岸田川，浜坂高校・岸田川漁業協同組合・兵庫県豊岡土地改良センター

山中 亮一

- (1) 尼崎運河オープンチャネルデイ，尼崎運河水質浄化施設とその周辺
主催：尼崎運河〇〇クラブ
2017年4月16日10～18時，生物観察会など，25名
2017年5月21日10～18時，石井国土交通省大臣視察・水質浄化活動など，25名
2017年6月18日10～18時，水質浄化活動など，30名
2017年7月16日10～18時，干潟づくり活動，生物観察会など，25名
2017年8月20日10～18時，水質浄化活動など，27名

- 2017年9月24日10～18時，干潟づくり活動，水質浄化活動など，31名
- 2017年10月15日10～18時，水質浄化活動など，7名
- 2017年12月17日10～18時，水質浄化活動・生物観察会・中学生の活動報告会など，28名
- 2018年1月21日10～18時，干潟づくり活動・餅つきなど，23名
- 2018年2月18日10～18時，水質浄化活動・干潟づくり活動など，19名
- (2) 運河博覧会（うんぱく）
- 2017年5月27日11～16時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，運河博覧会実行委員会，環境まちづくりイベントなど，1000名
- (3) 小学生向け環境学習会，主催：尼崎市
- 2017年5月31日9～12時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，大庄小学校児童，78名
- 2017年6月6日13～15時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，立花南小学校児童，117名
- 2017年6月22日10～12時，長洲小学校体育館，長洲小学校児童，52名
- 2017年7月12日9～12時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，長洲小学校児童，52名
- 2017年10月4日9～12時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，七松小学校児童，69名
- 2017年10月10日10～12時，明城小学校，明城小学校児童，108名
- 2017年11月2日9～12時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，明城小学校児童，78名
- (4) 尼崎運河オープンキャナルフェスティバル，
- 2017年10月14日10～16時，尼崎運河水質浄化施設とその周辺，尼崎運河〇〇クラブ，環境イベントなど，300名
- (5) 藻場等の再生創出支援事業の活動報告会
- 2017年11月17日13～16時，明石商工会議所，兵庫県，環境活動報告など，200名
- (6) 瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム
- 2017年11月19日10～17時，兵庫県立尼崎小田高等学校，兵庫県立尼崎小田高等学校，高校生の発表に対する助言など，200名

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 木造建築教育に関する情報交換，2017年10月13日，徳島建築士会・木造建築学校運営委員会
- (2) 小松島市・南小松島学童耐震診断相談，2018年1月17日，南小松島学童

上月 康則

- (1) 徳島市津田中学校防災倶楽部，2017年5月～2018年1月，徳島市津田新浜地区，徳島市津田中学校，倶楽部による地区防災活動の支援
- (2) 津田新浜地区自主防災会連絡協議会，2017年11月12日，徳島市津田中学校体育館，津田新浜地区自主防災会連絡協議会，避難所運営訓練でのブロック塀啓発
- (3) 避難所宿泊体験学習，2017年12月16日，阿南市津乃峰小学校運動場，阿南市津乃峰小学校，安全なブロック塀についての体験学習

湯浅 恭史

- (1) スタジアム防災プロジェクト，第1回協議・2017年10月27日，アンケート調査・2017年11月11日，第2回協議・2018年1月12日，鳴門市，徳島ヴォルティス株式会社

4. 4 連携協定

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) とくしま生物多様性センター，徳島県における生物多様性の主流化に向けた活動支援，2016年11月28日締結

4. 5 その他

学会誌，マスコミ，商業誌等で取り上げられた記事や紹介等

<防災研究部門>

- (1) 朝日新聞（全国版），謎の大津波海底地すべりが原因？，朝刊1面，2017年9月13日
- (2) NHK徳島，最新の研究から防災対策を学ぶ，とく6徳島，2017年9月20日
- (3) 徳島新聞，地震への備え先例から学ぶ，朝刊26面（社会），2017年9月21日
- (4) 建設通信新聞，津波被害最小限に取り組み急務，7面，2017年11月2日
- (5) NHK松山放送局，海底地すべり津波，週刊防マガ，2017年11月13日
- (6) 徳島新聞，長期間の孤立懸念，朝刊23面，2017年11月24日
- (7) 徳島新聞，南海トラフ地震沖洲全域と川内の半分72時間後も津波浸水，朝刊1面，2017年11月24日
- (8) 四国放送，長期浸水への備え，フォーカス徳島，2018年1月17日

5. 研究

5. 1 研究クラスター

①広域複合災害の軽減に資する防災・減災技術の開発と普及に関する研究

代表者：馬場 俊孝

担当者：山中 亮一

研究費：2,000,000 円

概要：自然災害による被害を抑止または軽減するために、ハードとソフトの両面において先進的な防災技術を開発し社会への普及を目指す。

②グリーンインフラ研究拠点の形成に向けたフィージビリティスタディ：知的資産の掘り起こしとネットワーク形成

代表者：鎌田 磨人

担当者：武藤 裕則，河口 洋一，渡辺 公次郎，田村 隆雄，塚越 雅幸，内藤 直樹，笠原二郎，西田 貴明，

研究費：なし

概要：2017 年度はフィージビリティスタディ期間として位置づけ、基本的には推進費や関係する科研費等を用いながら研究を進める。それに並行して、まずは学内外での GI に関する理念、研究成果、今後の研究目標、社会実装の手法等に係る情報を共有していく。

③大規模広域災害時の地域継続力を飛躍的に向上させる地域継続戦略の構築

代表者：中野 晋

担当者：上月 康則，西村 明儒，馬場 俊孝，小川 宏樹，武藤 裕則，内海 千種，西山 賢一，蔣 景彩，田村 隆雄，金井 純子，湯浅 恭史，阪根 健二，山城 新吾，野々村 敦子，坂東 淳，北村 幸司

研究費：なし（登録クラスター）

概要：間近に迫る大規模広域災害に備え、自治体、企業、病院等の危機管理能力を飛躍的に改善して、最低限の地域継続力を持つことが喫緊の課題である。これを実現するためのエンジンとして、県内の自治体、病院、企業、社会福祉施設、学校などの多くの組織で実効性のある BCP（事業継続計画）の作成と運用が進むように、徳島県や他大学との連携の下、わかりやすい地震被害シナリオの構築、幅広い年代層を対象とした防災・危機管理人材の育成プログラムの開発、効果的な BCP の普及・啓発のための研修・訓練方法の開発を行う。

④徳島県における災害時の周産期医療・母子支援体制の構築

代表者：増矢 幸子，苛原 稔，加地 剛，中川 竜二，赤池 雅史，中野 晋，湯浅 恭史，金井 純子，岸田 佐智，葉久 真理，安井 敏之，福岡 美和，奥田 紀久子，岩佐 幸恵，岩本 里織，松下 恭子，岡久 玲子，森 健治，橋本 浩子，高橋 久美，谷 洋江

研究費：なし

概要：東日本大震災での周産期医療における課題は、熊本地震においてもなお解決に至っていないことが指摘されている。徳島県でも起こりうる災害発生時における周産期医療体制や母子支援体制の構築を目指す本取り組みは全国的にみても先駆的取り組みであり、支援体制をモデルとして発信することで全国への波及効果も期待できる。

5. 2 学長裁量経費

①機能強化・危機管理教育の広域展開等

担当者：中野 晋，湯浅 恭史

研究費：3,490,000 円

②南海トラフ巨大地震に対応する徳島大学 BCP（事業継続計画）の運用と教育・訓練の実施

担当者：湯浅 恭史

研究費：830,000 円

概要：徳島大学と大学病院機能の維持，教職員・学生・病院利用者の安全確保を保てるような基本的事前対策のため，BCP を策定しており，平成 29 年度は，昨年度の図上訓練で抽出された課題を解決するため，災害対策本部の各班や自衛消防組織での教育・訓練の実施を行う。

③インセンティブ経費

担当者：環境防災研究センター

研究費：1,227,000 円

5. 3 受託研究

①大規模・高分解能数値シミュレーションの連携とデータ同化による革新的地震・津波減災ビッグデータ解析基盤の創出

代表者：越村 俊一

担当者：馬場 俊孝

依頼者：国立研究開発法人科学技術振興機構

研究費：9,100,000 円

概要：津波シナリオ作成と沖合データを利用した津波浸水の同定解析

②平成 29 年度地域適応コンソーシアム中国四国地域事業

研究名：気候変動に対する生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）適応策の検討

代表者：鎌田 磨人

担当者：武藤 裕則，田村 隆雄

依頼者：株式会社地域計画建築研究所（環境省地球環境局）

研究費：2,584,680 円

概要：人工林の林相改善による流出抑制効果の把握，窪地地形内水田の貯水効果の把握，水田を用いた DRR 実装のためのインセンティブの把握・提案を行う。

③あらい浜風公園この浦舟池干潟整備方法に関する研究

担当者：上月 康則

依頼者：兵庫東播磨県民局

研究費：520,000 円

概要：兵庫県立あらい浜風公園内の「この浦舟池」環境改善を目的とした干潟整備方法に関する研究。

④広域 B C P 体制の構築支援

代表者：中野 晋

担当者：湯浅恭史

依頼者：徳島県危機管理部危機管理政策課

研究費：500,000円

概要：南海トラフ巨大地震など大規模広域災害時において、地域機能の維持・継続を図るため、県内自治体BCPの見直しや策定を支援するとともに、地域関係者が相互に連携した広域BCP体制の構築に向けた検討を行う。

⑤企業防災の訓練指導事業の実施とその効果検証

代表者：中野 晋

担当者：湯浅 恭史

依頼者：徳島県商工労働観光部商工政策課

研究費：810,000円

概要：災害時における企業の事業継続力を強化するため、BCPの策定及び見直し改善の支援として、県内企業を対象にした訓練指導を行うとともに、実際に訓練を実施した企業からの聞き取り調査などから、訓練指導の手法について検証を行う。

⑥長洲町地方創生交付金事業

研究名：長洲干潟の環境保全・再生実験「長洲町地先干潟でのアミノ酸コンクリートを用いたアサリ増殖方法の検討」

代表者：中西 敬

担当者：上月 康則，山中 亮一

研究費：1,495,000円

概要：全国的にあさりの資源が激減している中、長洲地先の干潟ではあさりを初めとする干潟の豊かな資源が持続的に維持・活用されている。今後も持続的に干潟の資源を増殖・維持・活用するため、これまでの干潟環境の変遷を整理するとともに現状の干潟環境の把握・評価を行い、加えてあさり等資源増殖のための新たな方法を検証する。

5.4 共同研究

①南海トラフにおける海底地すべり津波の高精度シミュレーション

担当者：馬場 俊孝

共同研究先：中部電力

研究費：4,848,228円

概要：海底地すべり津波の解析

②津波予測技術の高度化に関する研究

担当者：馬場 俊孝

共同研究先：国立研究開発法人海洋研究開発機構

研究費：なし

概要：津波予測技術の高度化

③防波堤や築山等の津波被害軽減効果と影響に関する研究開発

担当者：馬場俊孝

共同研究先：株式会社エイト日本技術開発

研究費：599,500円

概要：既存や計画の防波堤・道路盛土・築山公園等による対象地区に侵入した津波の流れの変化を津波浸水シミュレーションで評価し、これらの施設の配置による効果と影響を把握し、津波被害をコントロールするノウハウを得るための研究を行う。

④ 尼崎運河と尼崎港での水質浄化の研究

代表者：上月 康則

担当者：山中 亮一

共同研究先：兵庫県阪神南県民センター

研究費：1,499,938円

概要：水質の長期的変動特性の解析、水質の長期予測、水質浄化施設に関する環境ガバナンスと社会的便益の評価、尼崎運河と尼崎港の環境修復技術・手法の開発を行う。

5.5 受託事業

① 地域防災力強化人材育成推進事業

担当者：中野 晋

依頼者：徳島県防災人材育成センター

研究費：7,139,000円

概要：地域防災活動に行政と協働して取り組む「地域防災推進員」の養成を図り、地域防災力の強化につなげるため、徳島大学が開講する体系的な防災講座を一般県民及び徳島県職員等を対象に実施する。

② 地域防災力強化事業

担当者：田村 隆雄

依頼者：徳島市

研究費：1,040,000円

概要：平成23年に発行した「徳島市総合防災マップ」を市民が自宅に保管するだけのものにしないようフォローアップを実施し、徳島市内2地区を対象に地域住民が自ら考え避難支援マップを作成することにより、地域の特性を再認識し、地域の防災力強化と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

③ 平成29年度研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」

担当者：上月 康則

依頼者：日本学術振興会

研究費：250,000円

概要：地域の子供たちに、なにわ海の栄養循環の特性や自らが環境を良くする方法を考え、理解させ、主体的に活動する意欲を高めさせる講義、実験、演習を行う。

5.6 助成金

① 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）・基盤研究（A）（一般）

研究名：津波災害に対するまちづくりを含めた統合的減災システムの設計・評価と社会実装の検討

代表者：岡安 章夫（東京海洋大学）
分担者：山中 亮一
研究費：455,000 円

② 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）・基盤研究(B)（一般）

研究名：里海創出を目指した都市海の「小わざ」と「ふるさと化」に関する実証研究
代表者：上月 康則
分担者：山中 亮一
研究費：9,880,000 円

③ 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・挑戦的研究（萌芽）

研究名：地域に信頼される中学生関与による南海トラフ巨大地震・津波に対する避難
路整備手法
代表者：上月 康則
分担者：山中 亮一，井若 和久，光原 弘幸，内海 千種
研究費：3,250,000 円

④ 平成 29 年度（第 22 回）阿波銀行学術・文化振興財団学術部門助成

研究名：水中 360 度パノラマ動画による沿岸環境アーカイブシステム開発～徳島県沿
岸域の「海の豊かさ」アーカイブの試み～
代表者：藤田 達也（藤田建設コンサルタント）
担当者：山中 亮一
依頼者：阿波銀行学術・文化振興財団
研究費：500,000 円

⑤ 大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度

研究名：海辺の環境再生活動の社会的価値算定に関する研究～尼崎運河を事例として～
代表者：山中 亮一
担当者：上月 康則
依頼者：大阪湾広域臨海環境整備センター
研究費：1,442,000 円

5. 7 寄付金

上月 康則，山中 亮一

寄附者：株式会社基礎建設コンサルタント
研究費：500,000 円

上月 康則

寄附者：五洋建設株式会社
研究費：500,000 円

中野 晋

寄附者：渡辺 章弘
研究費：300,000 円

5. 8 その他

①管理運営経費（教育）

研究費：785,000円

概要：大学間連携共同教育推進事業にかかる自己収入

②管理運営経費（研究）

「徳島大学の防災 ～見て、触れて、食べて、学ぶ防災～」

代表者：上月康則

研究費：50,000円

6. 研究業績

6. 1 著書 (名前、著書題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

西山 賢一

- (1) 西山 賢一, 日本地形学連合編, 地形の辞典, 朝倉書店 (総ページ 1,018p, 分担執筆), 2017 年
- (2) 西山 賢一, 日本地質学会編著, はじめての地質学, ベレ出版, (総ページ 245p, 分担執筆: pp. 206-211), 2017 年

近藤 光男

- (1) 近藤光男, 自然災害—減災・防災と復旧・復興への提言— (第7章「活断層への土地利用対策—徳島県における事例—」), 梶秀樹・和泉潤・山本佳世子他, 技報堂出版, 2017 年 9 月 15 日

浜野 龍夫

- (1) 浜野 龍夫編著, 神戸住吉川 魚道と生きもの図鑑, 兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所, 78P, 2018 年 3 月 31 日。

西田 貴明

- (1) 西田 貴明, グリーンインフラとは何か, 日本ビジネス出版・環境ビジネス 2017 年秋号, 2017 年 9 月
- (2) 西田 貴明, 8-7 環境 DNA: 一杯の水から読み解く生物調査のブレイクスルー, 共著, 東洋経済新報社・「2018 年日本はこうなる」(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング), pp. 256-257, 2017 年 11 月
- (3) 西田 貴明, 8-9 国立公園インバウンド: 世界自然遺産登録を契機に広がる可能性, 共著, 東洋経済新報社・「2018 年日本はこうなる」(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング), pp. 260-261, 2017 年 11 月
- (4) 西田 貴明, グリーンインフラと環境ビジネス, 日本ビジネス出版・環境ビジネス 2018 年冬号, 2017 年 12 月
- (5) 西田 貴明, 次代を変える技術者, 日経コンストラクション 2018 年 1 月 22 日号, 2018 年 1 月
- (6) 西田 貴明, 生物多様性協働フォーラムのまとめ, 季刊政策・経営研究, 2018 年 2 月
- (7) 西田 貴明、橋本 佳延, 生物多様性協働フォーラムの成果, 季刊政策・経営研究, 2018 年 2 月
- (8) 橋本 佳延、西田 貴明、三橋 弘宗, 生物多様性協働フォーラムとは, 季刊政策・経営研究, 2018 年 2 月

6. 2 論文 (名前、題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) Katsumata, A., Y. Hayashi, K. Miyaoka, H. Tsushima, T. Baba, P. A. Catalán, C. Zelaya, F. Riquelme Vasquez, R. Sanchez-Olavarría, and S. Barrientos, Stand-alone tsunami alarm

- equipment, *Nat. Hazards Earth Syst. Sci.*, 17, 685–692, doi:10.5194/nhess-17-685-2017, 2017年5月
- (2) Baba, T., J. Taniguchi, N. Kusunoki, M. Miyoshi, H. Aki, Preliminary Study on Long-Term Flooding After the Tsunami, *J. Disaster Research*, 12, 741–747, doi:10.20965/jdr.2017.p0741, 2017年8月
- (3) Takahashi, N., K. Imai, M. Ishibashi, K. Sueki, R. Obayashi, T. Tanabe, F. Tamazawa, T. Baba, and Y. Kaneda, Real-Time Tsunami Prediction System Using DONET, *J. Disaster Research*, 12, 766–774, doi: 10.20965/jdr.2017.p0766, 2017年8月
- (4) Ichimura, T., R. Agata, T. Hori, K. Satake, K. Ando, T. Baba and M. Hori, Tsunami Analysis Method with High-Fidelity Crustal Structure and Geometry Model, *Journal of Earthquake and Tsunami*, 11, 1750018, DOI: 10.1142/S179343111750018X, 2017年10月
- (5) 山中 亮一, 中川 頌将, 上月 康則, 馬場 俊孝, 液状化に伴う沈下を考慮した徳島県東部での津波浸水過程の数値的検討, *土木学会論文集 B2(海岸工学)*, 73, I_289-I_294, https://doi.org/10.2208/kaigan.73.I_289, 2017年10月

村田 明広

- (1) 村田 明広・高橋 司, 黒瀬川構造帯の模式地と四国西部の秩父帯を巡る: 四国西予ジオパーク. *地質学雑誌*, Vol.123, pp. 585–597, 2017年

蔣 景彩

- (1) 蔣 景彩, 中野 晋, 2016年熊本地震における益城町での地盤と住宅被害の関係, 平成29年自然災害フォーラム&21世紀の南海地震と防災(第12巻), 2018年1月
- (2) 田中 勇氣, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, 中野 晋: 平成28年熊本地震における自治体の災害対応の課題についての考察, 平成29年自然災害フォーラム&21世紀の南海地震と防災(第12巻), 2018年1月

西山 賢一

- (1) Torii, M., Okuno, M., Nishiyama, K., Kitazono, Y., Hasenaka, T., and Yokota, S. (2017): Three types of sediment movement in the Sannoudani River, Minamiaso Village, Kumamoto Prefecture, southwestern Japan (Cover Story), *Journal of the Sedimentological Society of Japan*, 76, p. 64.
- (2) 西山 賢一・横田 修一郎・長谷川 修一・菅原 大助, 火山角礫岩からなる急崖に発達するノッチ・タフォニの形成プロセスと岩盤崩落との関係: 香川県高松市五剣山の例. *地学雑誌*, Vol. 126, pp. 425–437, 2017年
- (3) 西山 賢一・瀬部 直之・石田 啓祐・中尾 賢一・辻野 泰之・橋本 寿夫, 地形・地質から見た鳴門海峡の成立. *阿波学会紀要*, 第61号, pp. 1–10, 2017年
- (4) 西山 賢一・石田 啓祐・中尾 賢一・辻野 泰之, 「ドイツ橋」および「ドイツ兵の慰霊碑」撫養石石材の産地と経年風化. *阿波学会紀要*, 第61号, pp. 177–184, 2017年
- (5) 西山 賢一, 地すべりの発生年代に関する既存の研究. らんどすらいど (日本地すべり学会関西支部会報), No. 32, pp. 27–31, 2017年

- (6) 西山 賢一・鳥井 真之・田近 淳・奥野 充・井口 隆・碓井 敏彦・矢野 寛幸・横田 修一郎, 地震で流下・堆積した阿蘇カルデラ西部, 山王谷川・垂玉川流域の崩壊堆積物. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.128-138, 2017 年
- (7) 西山 賢一・鳥井 真之・井口 隆・釜井 俊孝・田近 淳・高見 智之・加藤 靖郎・奥野 充・山本 茂雄・矢田 純, 阿蘇火山研究所周辺で発生した地すべり. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.120-127, 2017 年
- (8) 高見 智之・井口 隆・加藤 靖郎・西山 賢一・日本応用地質学会九州支部 WG 斜面災害班, 地震で生じた斜面災害の特徴と地形地質条件からの類型化. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.85-95, 2017 年
- (9) 日本応用地質学会 2016 年熊本・大分地震災害調査団 陥没性亀裂調査班 (西山 賢一ほか 23 名), 阿蘇カルデラ内に出現した陥没性亀裂と側方移動. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.64-72, 2017 年
- (10) 奥野 充・鳥井 真之・西山 賢一・中西 利典・横田 修一郎・井口 隆・高見 智之・加藤 靖郎・宮崎 精介・山本 茂雄・長谷中 利昭・北園 芳人・九州応用地質学会熊本・大分地震災害ワーキンググループ, 平成 28 年 (2016 年) 地震で誘発された阿蘇カルデラ・高野尾羽根火山の西側斜面の崩壊プロセスについて. 日本応用地質学会熊本・大分地震災害調査団調査報告書, pp.114-119, 2017 年
- (11) 西山 賢一, 2016 年熊本地震の災害調査報告. めらんじゅ (宮崎応用地質研究会誌), No. 28, pp.52-59. 2017 年
- (12) 西山 賢一, 徳島市の地盤. 全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究報告書, 地盤工学会全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究委員会, pp.97-100, 2017 年
- (13) 西山 賢一・撰田 克哉・井口 隆, 朝倉市妙見川流域で発生した地すべり・斜面崩壊の地形・地質的特徴. 日本応用地質学会九州北部豪雨災害調査団報告書, 2018 年
- (14) 田近 淳・太田 岳洋・千田 敬二・長谷川 怜思・碓井 敏彦・田村 浩行・西村 智博・松澤 真・西山 賢一・撰田 克哉・戸邊 勇人・池見 洋明・佐伯 佳美・磯部 有作・松尾 達也・小野田 敏・小林 洋・江口 貴弘, 火山岩地域でおきた特徴的な斜面変動―日田市小野地すべりを中心に. 日本応用地質学会九州北部豪雨災害調査団報告書, 2018 年

山中 亮一

- (1) 石河 雅典, 上月 康則, 山中 亮一, 大久保 陽介: 数値計算を用いた粘り強い耐津波海岸堤防裏法面形状に関する考察, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.1069-1074, 2017 年
- (2) 井若 和久, 上月 康則, 杉本 卓司, 樋口 僚, 岡本 隼輔, 山中 亮一, 佐藤 康徳: 徳島市津田・新浜地区での中学生との想定津波浸水深表示シールの貼付とその啓発効果, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.1519-1524, 2017 年
- (3) 山中 亮一, 中川 頌将, 上月 康則, 馬場 俊孝, 液状化に伴う沈下を考慮した徳島県東部での津波浸水過程の数値的検討, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.289-294, 2017 年

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 佐々木 剛・丹羽 英之・朝波 史香・鎌田 磨人, 「小型 UAV を用いた海岸マツ林の林床光環境の推定」, 日本緑化工学会誌, 43(1), pp. 51-55, 2017 年 9 月
- (2) Kamada M., Muto Y. & Imai Y., 「Paddy fields as green infrastructure」, E-proceedings of the 37th IAHR World Congress, p. 7, 2017 年 8 月
- (3) 鎌田 磨人, 「生態系への投資がなぜ必要なのか?」, グリーンパワー (2018 年 2 月号), 470 号, pp. 26-29, 2018 年 2 月
- (4) 鎌田 磨人, 「農」の場における生物多様性を維持・利活用し続けるための仕組み, 季刊 政策・経営研究, 2018_Vol. 1, pp. 29-35, 2018 年 3 月

上月 康則

- (1) 渡辺 雅子, 永峰 和佳, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 山中 亮一, 沖洲人工海浜での希少種ルイスハンミョウ保全のための生息環境創出実験, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1363-1368, 2017 年
- (2) 山中 亮一, 上月 康則, 中西 敬, 大熊 康平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 一色 圭佑, 森紗綾香, 谷口 大太郎, 尼崎運河での環境活性コンクリートによる 生物浄化水路への効果, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1387-1392, 2017 年
- (3) 東 和之, 大田 直友, 橋本 温, 大谷 壮介, 上月 康則, ニホンスナモグリ of 生物攪拌による底質環境の改変と底生生物相への影響, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73 巻, 2, pp. 857-862, 2017 年
- (4) 渡辺 雅子, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 松島 輝将, 山中 亮一, 希少種保全を目的とした人工海浜の整備について, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 851-856, 2017 年
- (5) 竹山 佳奈, 山中 亮一, 河野 博, 岩本 裕之, 宮本 一之, 平川 倫, 上月 康則, 都市部運河域を利用する魚類を対象とした生物共生護岸に関する実験的検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 845-850, 2017 年
- (6) 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩見 和樹, 山中 亮一, 宮本 一之, 酸素・塩分勾配水槽を用いたチチブの貧酸素応答に関する実験的研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 839-844, 2017 年
- (7) 浜谷 信介, 加島 史浩, 竹山 佳奈, 和栗 成樹, 山内 裕元, 岩本 裕之, 山中 亮一, 上月 康則, PS 灰改質材を用いて改質した浚渫土の水域の植物生育基盤への適用性, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp. 953-958, 2017 年
- (8) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一「大学生を対象とした干潟での自然体験学習に関する考察～アクティブラーニングの視点から～」, 沿岸域学会誌, Vol. 30(1), pp. 53-63, 2017 年

山中 亮一

- (1) 渡辺 雅子, 永峰 和佳, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 山中 亮一, 沖洲人工海浜での希少種ルイスハンミョウ保全のための生息環境創出実験, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1363-1368, 2017 年

- (2) 山中 亮一, 上月 康則, 中西 敬, 大熊 平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 史, 一色 圭佑, 森 紗綾香, 谷口 大太郎, 尼崎運河での環境活性コンクリートによる 生物浄化水路への効果, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp.1387-1392, 2017 年
- (3) 渡辺 雅子, 上月 康則, 岡田 直也, 玉井 勇佑, 松島 輝将, 山中 亮一, 希少種保全を目的とした人工海浜の整備について, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.851-856, 2017 年
- (4) 竹山 佳奈, 山中 亮一, 河野 博, 岩本 裕之, 宮本 一之, 平川 倫, 上月 康則, 都市部運河域を利用する魚類を対象とした生物共生護岸に関する実験的検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.845-850, 2017 年
- (5) 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩見 和樹, 山中 亮一, 宮本 一之, 酸素・塩分勾配水槽を用いたチチブの貧酸素応答に関する実験的研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.839-844, 2017 年
- (6) 浜谷 信介, 加島 史浩, 竹山 佳奈, 和栗 成樹, 山内 裕元, 岩本 裕之, 山中 亮一, 上月 康則, PS 灰改質材を用いて改質した浚渫土の水域の植物生育基盤への適用性, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 73, 2, pp.953-958, 2017 年
- (7) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一「大学生を対象とした干潟での自然体験学習に関する考察～アクティブラーニングの視点から～」, 沿岸域学会誌, Vol.30(1), pp.53-63, 2017 年

小串 重治

- (1) 小串 重治, 鎌田 磨人, スマホを利用した市民生物分布調査の有効性と課題, ランドスケープ研究 : 日本造園学会誌, 81(1), pp.42-45, 2017 年 4 月

西田 貴明

- (1) 西田 貴明・沼田 壮人, 都市の生物多様性指標から見る地方自治体の自然環境と保全活動の全国傾向, 日本造園学会誌, 2018 年 1 月
- (2) 西田 貴明, グリーンインフラ, 農村計画学会誌 Vol. 36 巻, 2017 年 9 月
- (3) 西田 貴明, 次世代の経済・社会と生物多様性の政策統合に向けて, 日本生態学会誌 Vol. 67(2017) No. 2, pp.197-204, 2017 年 8 月
- (4) 岩浅 有記, 西田 貴明, 人口減少・成熟社会におけるグリーンインフラストラクチャーの社会的ポテンシャル, 日本生態学会誌 Vol. 67(2017) No. 2, pp.239-245, 2017 年 8 月

<危機管理研究部門>

中野 晋

- (1) 嶋田 宏, 中野 晋 : ミャンマー高潮被災地域における簡易潮位計の設置と潮位予測の試み, 土木学会論文集 B3(海洋開発), Vol.73, No.2, pp.I_749-I_754, 2017 年
- (2) 森 康成, 中野 晋 : 学校における防災マニュアルと避難行動を結び付けた教科教育教材の開発, --- 英語活動と図画工作を事例に ---, 安全教育学研究, Vol.17, No.1, pp.33-50, 2017 年
- (3) 中野 晋 : 2017 年九州北部豪雨にみる児童・生徒を安全に下校させるための課題, 平成 29 年自然災害フォーラム論文集, pp.11-18, 2018 年
- (4) 蔣 景彩, 中野 晋 : 2016 年熊本地震における益城町での地盤と住宅被害の関係, 21 世紀の南海地震と防災, Vol.12, pp.43-48, 2018 年

- (5) 湯浅 恭史, 中野 晋 : 徳島県内の災害拠点病院における事業継続の実態と今後の課題, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 61-64, 2018 年
- (6) 田中 勇氣, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, 中野 晋 : 平成 28 年熊本地震における自治体の災害対応の課題についての考察, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 79-86, 2018 年
- (7) 川瀬 公美子, 中野 晋, 内海 千種 : 災害支援者をより活用するための受援体制のあり方, --- 公立学校の派遣スクールカウンセラーの受け入れ方法の提案 ---, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 73-78, 2018 年
- (8) 井上 惣介, 中野 晋 : 2016 年熊本地震における地元建設企業の災害対応に関するインタビュー調査, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_27-I_34, 2018 年
- (9) 金井 純子, 三好 学, 安藝 博資, 中野 晋 : 高齢者施設における洪水時の「避難開始の判断」の重要性と判断の目安の設定方法, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_139-I_146, 2018 年
- (10) 根来 慎太郎, 湯浅 恭史, 中野 晋, 朝野 佳伸:GIS による「見える化」を活かした建設会社の BCP 改革, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_199-I_205, 2018 年
- (11) 湯浅 恭史, 中野 晋, 島田 敬祐, 田中 勇氣 : 自己チェックシートによる自治体 BCP の改善と今後の課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_213-I_218, 2018 年
- (12) 湯浅 恭史, 中野 晋, 小山 昌宏 : 平成 28 年熊本地震における医療機関の事業継続の実態と課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_207-I_212, 2018 年

上月 康則

- (1) 石河 雅典, 上月 康則, 山中 亮一, 大久保 陽介 : 数値計算を用いた粘り強い耐津波海岸堤防裏法面形状に関する考察, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 1069-1074, 2017 年
- (2) 井若 和久, 上月 康則, 杉本 卓司, 樋口 僚, 岡本 隼輔, 山中 亮一, 佐藤 康徳 : 徳島市津田・新浜地区での中学生との想定津波浸水深表示シールの貼付とその啓発効果, 海岸工学論文集 B2(海岸工学), 73, 2, pp. 1519-1524, 2017 年
- (3) 山中 亮一, 中川 頌将, 上月 康則, 馬場 俊孝, 液状化に伴う沈下を考慮した徳島県東部での津波浸水過程の数値的検討, 海岸工学論文集 B2 (海岸工学), 73, 2, pp. 289-294, 2017 年

湯浅 恭史

- (1) 根来 慎太郎, 湯浅 恭史, 中野 晋, 朝野 佳伸 : GIS による「見える化」を活かした建設会社の BCP 改革, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_199-I_205, 2018 年
- (2) 湯浅 恭史, 中野 晋, 小山 昌宏 : 平成 28 年熊本地震における医療機関の事業継続の実態と課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_207-I_212, 2018 年
- (3) 湯浅 恭史, 中野 晋, 島田 敬祐, 田中 勇氣 : 自己チェックシートによる自治体 BCP の改善と今後の課題, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol. 73, No. 2, pp. I_213-I_218, 2018 年
- (4) 田中 勇氣, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, 中野 晋:平成 28 年熊本地震における自治体の災害対応の課題についての考察, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 79-86, 2018 年
- (5) 湯浅 恭史, 中野 晋 : 徳島県内の災害拠点病院における事業継続の実態と今後の課題, 21 世紀の南海地震と防災, Vol. 12, pp. 61-64, 2018 年

金井 純子

- (1) 金井 純子・三好 学・安藝 浩資・中野 晋, 高齢者施設における洪水時の「避難開始の判断」の重要性と判断の目安の設定方法, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol.73, 2018 年

6. 3 研究発表等 (名前、発表題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 中村 武史, 馬場 俊孝, 南海トラフ域における津波伝播即時予測システムの開発, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SCG72-P05, 2017 年 5 月
- (2) 齊藤 竜彦, 馬場 俊孝, 武村 俊介, 福山 英一, 地震波と津波を考慮した海面変位と浸水の理論計算手法: 南海トラフ巨大地震モデルでの計算例, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, SSS08-17, 2017 年 5 月
- (3) 吉川 真史, 村田 伸, 五十嵐 康彦, 馬場 俊孝, 堀 高峰, 岡田 真人, べき乗則をもとにした津波高予測のための非線形パラメトリックモデル, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HDS16-08, 2017 年 5 月
- (4) 谷口 純一, 吉川 貴史, 村田 伸, 五十嵐 康彦, 堀 高峰, 岡田 真人, 馬場 俊孝, L1 正則化項付き線形回帰による津波予測に適した観測点配置の検討, 日本地球惑星科学連合 2017 年大会, HDS16-02, 2017 年 5 月
- (5) 馬場 俊孝, 芦 寿一郎, 金松 敏也, 海底地滑りを波源とした 1512 年永正津波の数値計算 第 34 回歴史地震研究会つくば大会, 2017 年 9 月 15 日
- (6) 田川 恭平, 谷口 純一, 大角 恒雄, 堀 高峰, 岡田 真人, 馬場 俊孝, 津波高予測に適した観測点配置のグループラッソによる検討, 地震学会秋季大会, 2017 年 10 月 25 日
- (7) 水口 竜一, 馬場 俊孝, 井若 和久, 塚本 章宏, 渡辺 公次郎, 山中 英生 自律型位置把握システムにより取得された情報を用いた津波避難シミュレーション, 平成 29 年自然災害フォーラム& 第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018 年 1 月 17 日
- (8) Baba, T., T. Okada, J. Ashi, T. Kanamatsu, A possible source model of the 1512 Eisho tsunami described in an ancient document, JpGU-AGU Joint Meeting 2017, HDS12-10, 2017 年 5 月
- (9) Baba, T., T. Okada, J. Ashi, T. Kanamatsu, A possible tsunami caused by a submarine landslide in 1512 at the Nankai trough, Japan, IAG-IASPEI 2017, S04-1-02, Kobe. 2017 年 8 月
- (10) Saito, T., T. Baba, S. Takemura, E. Fukuyama, Synthesis of Offshore Tsunami Records and Inundation Including Seismic Waves and Tsunami: Anticipated Nankai Trough Earthquakes, Southwest, Japan, IAG-IASPEI 2017, J04-4-04, Kobe. 2017 年 8 月
- (11) Baba, T., S. Allgeyer, J. Hossen, P. R. Cummins, T. Kato, Later phase modeling of the trans-pacific tsunami caused by the 2011 Tohoku earthquake, International Tsunami Symposium 2017, Bali, 2017 年 8 月 21 日
- (12) Murakami, S., J. Taniguchi, T. Baba, Influence of spatial heterogeneity of fault slip on coastal tsunami height, International Tsunami Symposium 2017, Bali, 2017 年 8 月 21 日

- (13) Baba, T., J. Ashi, T. Kanamatsu, K. Imai, K. Yamashita, Paleogeographical, bathymetric and numerical investigations for a tsunami possibly caused by submarine mass failures in the Nankai trough, Japan, AGU fall meeting 2017, NH23A-0206, New Orleans, 2017年12月12日

蒋 景彩

- (1) 蒋 景彩, 中野 晋, 2016年熊本地震による益城町の地盤災害の特徴, 日本地震工学会 2017年大会, 2017年11月
- (2) An-Jui Li, Jing-Cai Jiang, Rock slope stability investigations using pseudo-static method, 4th International Forum on Advanced Technologies, Tokushima, 2018年3月8・9日
- (3) Ang Liu, Jing-Cai Jiang, Wenli Lin, Jun Zhu, Shear stress relaxation properties of discontinuities under different stress and JRC, 4th International Forum on Advanced Technologies, Tokushima, 2018年3月8・9日

西山 賢一

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康德, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成29年自然災害フォーラム&第12回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018年1月
- (2) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康德: “やっとう防災”の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 2017年5月

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 朝波 史香・伊東 啓太郎・鎌田 磨人, 福岡県福津市福間における海岸マツ林の自律的管理. 第61回日本生態学会中国・四国地区大会(高知市), 2017年5月13日
- (2) Kamada M., Muto Y. & Imai Y. 「Paddy fields as green infrastructure」, 37th IAHR World Congress (Kuala Lumpur, Malaysia), 2017年8月17日
- (3) 佐々木 剛・朝波 史香・鎌田 磨人・丹羽 英之, 「小型 UAV を用いた海岸マツ林の林床光環境の推定」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3学会合同大会)(名古屋), 2017年9月23日
- (4) 今井 洋太・渡辺 公二郎・鎌田 磨人, 「浸水想定区域内の法的土地利用区分に基づく地域累計農地が持つ洪水調節機能を活かせるか?」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3学会合同大会)(名古屋), 2017年9月23日
- (5) 岩佐 愛恵・今井 洋太・鎌田 磨人, 「ナベヅルの越冬を可能にする水田・畦畔の景観構造」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3学会合同大会)(名古屋), 2017年9月24日
- (6) 朝波 史香・伊東 啓太郎・鎌田 磨人, 「ガバナンス論に基づく海岸マツ林の持続性評価-3地域における保全活動の比較から」, ELR2017 (応用生態工学会・日本景観生態学会・日本緑化工学会 3学会合同大会)(名古屋), 2017年9月24日

- (7) 今井 洋太・鎌田 磨人, 「対馬におけるナベヅルの越冬・中継地推定-餌場を核とした埤創造のあり方」, 対馬学フォーラム 2017 (対馬市), 2017年12月10日
- (8) 朝波史香・伊東啓太郎・鎌田磨人, 「福津市総合計画におけるガバナンスの仕組みと海岸マツ林の持続的管理」, 環境省環境研究総合推進費「ハビタットロスの過程に着目した生態系減災機能評価と包括的便益評価手法の開発」研究グループ・環境省環境研究総合推進費「人口減少, 気候変動下におけるグリーンインフラ-生物多様性・防災・社会的価値評価」研究グループ・総合地球環境学研究所「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)の評価と社会実装」研究グループ 公開シンポジウム「自然を活かして防災する-災害と恵みのかかわり」(福井県若狭町), 2018年2月10日
- (9) 岩佐愛恵・今井洋太・鎌田磨人, 「ナベヅル受け入れのための餌資源量と農業者意識の評価-研究の枠組み」, 環境省環境研究総合推進費「ハビタットロスの過程に着目した生態系減災機能評価と包括的便益評価手法の開発」研究グループ・環境省環境研究総合推進費「人口減少, 気候変動下におけるグリーンインフラ-生物多様性・防災・社会的価値評価」研究グループ・総合地球環境学研究所「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)の評価と社会実装」研究グループ 公開シンポジウム「自然を活かして防災する-災害と恵みのかかわり」(福井県若狭町), 2018年2月10日

上月 康則

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康德, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 高松, 2018年1月
- (2) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司: 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017年5月
- (3) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康德: “やっとう防災” の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017年5月
- (4) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司, 樋口 遼, 井若 和久, 山中 亮一, 佐藤 康德, 渡辺 公次郎, 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017年5月
- (5) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 大熊 康平, 中西 敬, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 環境活性コンクリートのヨコエビ類に対する蝸集効果の評価, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集松山,, 2017年5月
- (6) 牧本 佳樹, 上月 康則, 前田 真里, 岩雲 貴俊, 松重 摩耶, 前田 清子, 山中 亮一, 高砂・この浦舟池での干潟創出による環境改善の試み, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017年5月
- (7) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 花住 陽一, 上月 康則, 松島 輝将, 玉井 勇佑, 岡田 直也, 山中 亮一, UAV 応用によるルイスハンミョウ生息環境モニタリングの有用性について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017年5月

- (8) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 藍澤 夏美, 一色 圭佑, 中岡 禎雄, 中西 敬, 森 紗綾香, 尼崎運河での「干潟づくり活動」による環境改善活動の効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (9) 岩見 和樹, 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 宮本 一之, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩本 裕之, 山中 亮一, チチブの貧酸素水塊への耐性および忌避行動について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (10) 山中 亮一, 上月 康則, 大熊 康平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 一色 圭佑, 森 紗綾香, 中西 敬, 谷口 大太郎, 尼崎運河水質浄化施設での環境活性コンクリートの二次消費者に及ぼす効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (11) 山中 亮一, 上月 康則, 上田 敦史, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 一色 圭佑, 森 紗綾香, ムラサキイカガイの分解に起因する水質汚濁過程について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (12) 松重 摩耶, 上月 康則, 西上 広貴, 山中 亮一, 宇宙時代に「自然体験学習」は必要か?—工学系大学院生の意見より—, 日本環境教育学会第 28 回大会, 岩手, p197, 2017 年 8 月
- (13) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, ジグソー法を取り入れた大学講義の成果と課題に関する一考察～学生の特質に着目して～, 日本協同教育学会, 岡山, pp. 112-113, 2017 年 9 月
- (14) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, AL 型大学院講義での発問「宇宙での生活に本物の自然体験は必要か?」の学習効果について, 平成 29 年度全学 FD 推進プログラム大学教育カンファレンス in 徳島発表抄録集, 徳島, p. 38-39, 2018 年 1 月
- (15) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 矢野 司, 上月 康則, 山中 亮一, UAV を活用した希少種ルイスハンミョウ保全のための取り組み, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (16) 矢野 司, 渡辺 雅子, 辻岡 雅啓, 上月 康則, 山中 亮一, 地域の宝を守る ～人工海浜とルイスハンミョウの保護～, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (17) 西上 広貴, 上月 康則, 山中 亮一, 尾野 薫, 平川 倫, 「ふるさと」の変遷とそれに対する大学生の行動変容特性について, 景観デザイン研究会, 京都, 2017 年 12 月

山中 亮一

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康徳, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 高松, 2018 年 1 月
- (2) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康徳: “やっとう防災” の存在とその特質～徳島市津田地区の住民を対象として～, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (3) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司, 樋口 遼, 井若 和久, 山中 亮一, 佐藤 康徳, 渡辺 公次郎, 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (4) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 大熊 康平, 中西 敬, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 環境活性コンクリートのヨコエビ類に対する蝟集効果の評価, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集松山, 2017 年 5 月

- (5) 牧本 佳樹, 上月 康則, 前田 真里, 岩雲 貴俊, 松重 摩耶, 前田 清子, 山中 亮一, 高砂・この浦舟池での干潟創出による環境改善の試み, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (6) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 花住 陽一, 上月 康則, 松島 輝将, 玉井 勇佑, 岡田 直也, 山中 亮一, UAV 応用によるルイスハンミョウ生息環境モニタリングの有用性について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (7) 山中 亮一, 上月 康則, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 藍澤 夏美, 一色 圭佑, 中岡 禎雄, 中西 敬, 森 紗綾香, 尼崎運河での「干潟づくり活動」による環境改善活動の効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (8) 岩見 和樹, 上月 康則, 平川 倫, 竹山 佳奈, 宮本 一之, 松重 摩耶, 西上 広貴, 岩本 裕之, 山中 亮一, チチブの貧酸素水塊への耐性および忌避行動について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (9) 山中 亮一, 上月 康則, 大熊 康平, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 上田 敦史, 一色 圭佑, 森 紗綾香, 中西 敬, 谷口 大太郎, 尼崎運河水質浄化施設での環境活性コンクリートの二次消費者に及ぼす効果について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (10) 山中 亮一, 上月 康則, 上田 敦史, 鶴江 智彦, 瀧口 裕己, 一色 圭佑, 森 紗綾香, ムラサキイカガイの分解に起因する水質汚濁過程について, 平成 29 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, 松山, 2017 年 5 月
- (11) 松重 摩耶, 上月 康則, 西上 広貴, 山中 亮一, 宇宙時代に「自然体験学習」は必要か? -工学系大学院生の意見より-, 日本環境教育学会第 28 回大会, 岩手, p197, 2017 年 8 月
- (12) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, ジグソー法を取り入れた大学講義の成果と課題に関する一考察~学生の特質に着目して~, 日本協同教育学会, 岡山, pp.112-113, 2017 年 9 月
- (13) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, AL 型大学院講義での発問「宇宙での生活に本物の自然体験は必要か?」の学習効果について, 平成 29 年度全学 FD 推進プログラム大学教育カンファレンス in 徳島発表抄録集, 徳島, p. 38-39, 2018 年 1 月
- (14) 辻岡 雅啓, 渡辺 雅子, 矢野 司, 上月 康則, 山中 亮一, UAV を活用した希少種ルイスハンミョウ保全のための取り組み, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (15) 矢野 司, 渡辺 雅子, 辻岡 雅啓, 上月 康則, 山中 亮一, 地域の宝を守る ~人工海浜とルイスハンミョウの保護~, 瀬戸内海研究フォーラム, 京都, 2017 年 9 月
- (16) 西上 広貴, 上月 康則, 山中 亮一, 尾野 薫, 平川 倫, 「ふるさと」の変遷とそれに対する大学生の行動変容特性について, 景観デザイン研究会, 京都, 2017 年 12 月

渡辺 公次郎

- (1) 豊田 晃太郎, 奥嶋 政嗣, 渡辺 公次郎, 山中 英生: 地方都市圏での津波リスクを考慮した居住地選択に関する基礎的分析, 土木計画学研究・講演集, Vol. 56, 平成 29 年 11 月
- (2) 渡辺 公次郎: 徳島県阿南市における Maxent モデルを用いた水田の転用可能性に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp. 5-6, 2017 年 8 月
- (3) Kojiro WATANABE, Hideo Yamanaka and Akio Kondo: A Study on Simulation Model for Urbanization Considering Tsunami Disaster Risk in Japanese Provincial Cities,

Proceedings of 15th International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management, Wed. B63, Adelaide, 2017年7月

- (4) 福永 柚理子, 渡辺 公次郎, 近藤 光男: 歴史的市街地における延焼危険性に配慮した避難困難性に関する研究, 日本建築学会四国支部研究報告集, No. 17, pp. 109-110, 2017年5月
- (5) 渡辺 公次郎, 寺嶋 勇輝, 近藤 光男: 徳島県阿南市における水田のグリーンインフラストラクチャとしての利用可能性に関する研究, 都市計画研究講演集, Vol. 15, pp. 25-28, 2017年4月

<危機管理研究部門>

中野 晋

- (1) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 学校の災害環境を確かめよう ---, 徳島教育, No. 1175, pp. 36-37, 2017年5月
- (2) 中野 晋, 鳥庭 康代: 2015年常総水害での保育所の災害対応に学ぶ, 日本保育学会発表要旨集第70回大会, 2017年5月
- (3) 鳥庭 康代, 中野 晋: 2014年8月の台風における高知市内私立保育園での応急対応と保育再開について, --- 浸水被害後の安全対策の改善と課題について ---, 日本保育学会発表要旨集第70回大会, 2017年5月
- (4) 金井 純子, 中野 晋: 四国4県の福祉避難所アンケート調査からみた現状と今後の課題, 日本地域福祉学会第31回大会報告要旨集, p. 207, 2017年6月
- (5) 中野 晋, 金井 純子: 熊本地震に学ぶ~大災害時の特別支援学校の役割~, 日本地域福祉学会第31回大会報告要旨集, p. 229, 2017年6月
- (6) 中野 晋, 金井 純子, 野々村 敦子, 橋本 悠太郎: 熊本地震における特別支援学校の災害対応, 地域安全学会梗概集, No. 40, pp. 43-46, 2017年6月
- (7) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 学校防災計画の活かし方 ---, 徳島教育, No. 1176, pp. 50-51, 2017年7月
- (8) 中野 晋, 蔣 景彩, 上原 廣紀, 泉谷 衣那: 2016年台風第10号による岩手県久慈市内の浸水被害, 第36回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, pp. 139-140, 2017年9月
- (9) 井上 惣介, 中野 晋: 2014年徳島大雪における地元建設企業の災害対応, 第36回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, pp. 113-114, 2017年9月
- (10) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 豪雨災害時の危機対応 ---, 徳島教育, No. 1178, pp. 46-47, 2017年11月
- (11) 中野 晋: とくしま学校防災「ゼロ」作戦, --- 災害時の支援学校の役割~熊本地震を例に~ ---, 徳島教育, No. 1179, pp. 37-38, 2018年1月
- (12) 中野 晋: 豪雨災害から子どもや職員を守るために, 日本保育学会会報, No. 170, pp. 2-3, 2018年1月

上月 康則

- (1) 上月 康則, 丸山 聖人, 細野 滉太, 佐藤 康徳, 河村 勝, 小川 宏樹, 杉本 卓司, 山中 亮一, 井若 和久: 地震・津波避難路確保のためのブロック塀の安全性調査について, 平成29年自然災害フォーラム&第12回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018年1月

- (2) 丸山 聖人, 上月 康則, 岡本 隼輔, 杉本 卓司: 徳島市津田・新浜地区を対象とした避難路 WS での参加住民の発言からみる防災意識の特徴について, 2017 年 5 月
- (3) 岡本 隼輔, 上月 康則, 樋口 遼, 井若 和久, 杉本 卓司, 山中 亮一, 佐藤 康徳: “やっとう防災” の存在とその特質~徳島市津田地区の住民を対象として~, 2017 年 5 月

湯浅 恭史

- (1) 橋本 美春, 井上 惣介, 福井 和也, 湯浅 恭史: 地域外の建設企業との連携への取組 (なでしこ BC 連携), 平成 29 年度土木学会四国支部第 23 回技術研究発表会, 2017 年 5 月
- (2) 湯浅 恭史, 中野 晋, 粕淵 義郎: 大学キャンパスにおける災害対応机上訓練の取組と今後の課題, 平成 29 年度土木学会四国支部第 23 回技術研究発表会, 2017 年 5 月
- (3) 湯浅 恭史, 中野 晋, 小山 昌宏: 徳島県内の災害拠点病院における BCP への取組の現状と今後の課題, 第 23 回日本集団災害医学会学術集会, 2018 年 2 月

金井 純子

- (1) 金井 純子, 四国 4 県の高齢者施設を対象にした水害対策に関するアンケート調査の結果, 平成 29 年自然災害フォーラム&第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム開催案内, 2018 年 1 月 17 日

6. 4 受賞・表彰 (名前、授与機関名、受賞年月日 など)

1) 大阪管区気象台長表彰

環境防災研究センター, 気象庁, 2017 年 6 月 1 日

多年にわたり他機関との連携を図り、徳島県民への防災と環境に関する知識の普及啓発に積極的に取り組み、地域の防災力向上に貢献した。

2) 日本水環境学会設立 45 周年記念功労賞

上月康則, (公) 日本水環境学会, 2017 年 6 月 16 日

3) 生物多様性アクション大賞 2017 ふれよう部門優秀賞

勝浦川流域フィールド講座, 国連生物多様性の 10 年日本委員会, 2017 年 12 月 8 日

「ふれよう部門」は、「山、海、川、動・植物園なおでの自然体験を通じて、自然の中で遊ぶことの楽しさや、地域の特色、生きものの生態や面白さを実感してもらう活動」を対象としている。今回の受賞は、①流域を意識した講座であること、②22 の市民団体がネットワークを形成して主体的に運営していること、③講座の内容も充実していて、徳島県と連携して“生物多様性リーダー”を認定していること、④そのリーダーが次のリーダー育成をサポートする循環の仕組みが構築されていること、そして、⑤学びの入り口で大学研究者等の学術を背景とする講師を迎えて科学的な知見が大事にされていること、が評価されたものである。

4) ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2018 最優秀レジリエンス賞(人づくり、コミュニティ、リスクコミュニケーション分野)

徳島大学(徳島大学におけるBCP(事業継続計画)・防災への取り組み), (一社)レジリエンスジャパン推進協議会, 2018年3月20日

6.5 その他

石田 和之

(1) 石田 和之, 「森林環境税の租税論」『森林環境2018』森林文化協会, 2018年3月

Ⅲ 徳島大学環境防災研究センター規則

平成16年2月20日

規則第1821号制定

(設置)

第1条 徳島大学（以下「本学」という。）に、徳島大学環境防災研究センター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、本学において地域の防災と自然環境保全に関する研究を推進するとともに、地域に密着した活動を通して地域貢献の責務を果たすことを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 地域防災に関する研究と地域支援
- (2) 地域の自然環境保全に関する研究と地域支援
- (3) 安全・安心な地域社会の形成に関する研究と地域支援
- (4) その他、地域の防災と自然環境保全に関する研究教育に必要な事項

(組織)

第4条 前条の目的を達成するため、センターに次の部門を置く。

- (1) 防災研究部門
- (2) 災害医療研究部門
- (3) 環境研究部門
- (4) 危機管理研究部門

(職員)

第5条 センターに次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 部門長
- (4) 専任教員（特任教員を含む。以下同じ。）
- (5) 部門スタッフ
- (6) その他必要な職員

(センター長及び副センター長)

第6条 センター長は、センターの専任教授のうちから第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、学長が命ずる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 副センター長は、センターの専任教授又は准教授のうちから第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、学長が命ずる。

4 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

5 センター長及び副センター長の任期は、2年とする。ただし、センター長及び副センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

6 センター長及び副センター長は、再任されることができる。

(部門長及び部門スタッフ)

第6条の2 部門長は、第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、センター長が命じ、又は委嘱する。

2 部門スタッフは、部門長の推薦に基づき、センター長が命じ、又は委嘱する。

3 部門長の任期は、2年とする。ただし、部門長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 部門長は、再任されることができる。

(専任教員)

第6条の3 専任教員は、センターの運営を補助し、所属する部門の業務を処理する。

(運営委員会)

第7条 センターに、業務の計画と実施に関して必要な事項を審議するため、環境防災研究センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

第8条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの管理運営の基本方針に関する事項
- (2) センターの事業計画に関する事項
- (3) センターの予算・決算に関する事項
- (4) センターに係る人事に関する事項
- (5) センターの自己点検・評価に関する事項
- (6) その他センターの管理運営と業務に関する必要な事項

第9条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 部門長
- (4) 専任教員
- (5) その他運営委員会が必要と認めた者

2 前項第5号の委員は、学長が命じる。

第9条の2 前条第1項第5号の委員の任期は、2年とする。ただし、当該委員が任期の途中で

欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

第10条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、副センター長が、その職務を代理する。

第11条 運営委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席した委員の過半数の賛成をもって決し、賛否同数のときは、議長の決するところによる。

3 運営委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(部門長連絡会議)

第12条 センター業務の企画と実施に必要な情報交換と相互連絡を密にするとともに、運営委員会の委嘱により、自己点検・評価を実施するため、部門長連絡会議（以下「連絡会議」という。）を開催する。

2 連絡会議は、センター長が招集する。

3 連絡会議には部門長のほかセンター長及び副センター長が出席する。

(専門委員会)

第13条 運営委員会に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の所掌事項、組織及び運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

(事務)

第14条 センターに関する事務は、研究・社会連携部産学連携・研究推進課において処理する。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命されるセンター長、副センター長及び部門主任は、第6条第3項の規定にかかわらず、学長が選出し、命ずるものとし、その任期は、同条第5項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

3 この規則施行後、最初に任命される第9条第1項第3号の委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則 (平成18年3月31日規則第123号改正)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年5月16日規則第3号改正）

1 この規則は、平成18年5月16日から施行し、この規則による改正後の徳島大学環境防災研究センター規則の規定は、平成18年4月1日から適用する。

2 この規則施行後、最初に任命される総務担当の副センター長の任期は、第6条第5項の規定にかかわらず、平成19年3月31日までとする。

附 則（平成18年8月9日規則第19号改正）

この規則は、平成18年8月9日から施行する。

附 則（平成19年2月16日規則第42号改正）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月16日規則第73号改正）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年3月24日規則第101号改正）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年2月26日規則第25号改正）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月19日規則第89号改正）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 徳島大学環境防災研究センター研究生規則（平成18年度規則第20号）は、廃止する。

附 則（平成26年9月19日規則第11号改正）

1 この規則は、平成26年10月1日から施行する。

2 この規則施行後、最初に任命される室長の任期は、第6条の3第3項の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。

附 則（平成27年3月17日規則第40号改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月24日規則第98号改正）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月21日規則第48号改正）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月8日規則第64号改正）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島2丁目1番地
徳島大学環境防災研究センター
Tel : 088-656-8965 Fax : 088-656-8017
E-mail:office@rcmode.net